京城日報

十九日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價　廣告料金　發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社　電話　編輯用長三四五番　營業用長三二六番　振替貯金口座京城三〇番

佛秘密會議内容

巴里來電＝佛國代議院は秘密會議を開きたる後本會議に移り滿場一致を以て政府信任案を可決したり秘密會議の議事は獨逸より佛國へ申込みたりといふ單獨講和提議の件なりしやに傳へらる（倫敦電報）

獨軍兩島に上陸

獨逸軍は遂にリガ灣のエーゼル、ダーゴ兩島に軍隊を上陸せしめたり（倫敦電報）

敵弩級艦の爆發

露國公報に曰く敵はリガ灣のムーン島に於て我軍をモール方面に壓迫せり斯くしてエーゼル島及びムーン島間の陸上聯絡に妨害を加へたるが我軍は終にエーゼル島に送れる味方と全く聯絡を失ふに至れり、實見者の談に依れば敵の弩級艦一隻は十三日我水雷敷設區域に入り爆發の後外海に向へるが其後の運命は不明なりと（倫敦電報）

墺艦艇暴動勃發

羅馬來電＝信頼すべき筋より聞く處に依れば墺國軍艦數隻に極めて重大なる暴動數次勃發し流血の慘事を起せり原因は食糧に關する紛議と將校の虐待に對する下士卒の反抗に依るものなりと（倫敦電報）

歐洲出兵と支那

某國は歐洲出兵に關し日支兩國の負擔に付き左の提議を爲せり

佛國は軍隊輸送の經費全部、戰時手當、宿舍、食糧等を負擔し支那は新式軍裝、軍器、彈藥、平時給料等を負擔すべし

右に對し支那政府は熟考中なるが差當り西南各省の問題の爲めに三萬の兵を撰拔することに當惑し居れり（北京特電）

戰鬪中止の勸告

十七日總統府の軍事會議に於て雲南軍に戰鬪中止を勸告し若し容れざるに於ては討伐命令を出すに決せり劉存厚氏は多分復職すべし（北京特電）

兵器借款の交涉

北京イーヴニング、タイムス紙は論じて曰く目下泰平公司と陸軍次長徐樹錚氏との間に兵器借款に關する交涉進行中なり此の借款は總額一億圓にして山砲、野砲、小銃及び機關銃を供給するものにして小銃のみにても十個師團に供給するに足るべしと（北京特電）

王世子御誕辰祝宴

李王世子殿下には二十日第二十回御誕辰記念日に付鳥居坂御用邸にて御祝宴を催ふさるべし（東京電報）

第二回米作豫想

農商務省にては十一月五六日頃第二回の米作豫想を發表すべしと（東京電報）

株式瓦落原因

株式界は本月に入り鈍狀を呈せしが十二日には東京安に端を發すると共に種々の揣摩臆測行はれて大瓦落を演じたり對外關係よりする瓦落の原因は米國の金及び鐵輸出解禁の見込なき等其重なるものなるが東京安は銀行の預金利子引上等も其原因となれり而して十五日に於ては總投げの場面を呈し唯郵船株のみ二百圓臺を維持したるのみなりき同日大瓦落の原因も前記の如く米國の金及び鐵の禁輸の利上げ其他諸種の惡材料輻湊したるが爲めにて成金も歩に返れり又三品市場にても山□商店が一千萬圓の大損失にて昨今整理に著手せしが一般に影響せざる樣整理案

立つ由稱し居れり此外仲買人中破綻せしもの北濱に二軒あり隨つて新規事業も萎縮し企畫中なりし會社も見合せ居るもの多し此下落相場も現物の小縮れる値頃以下も賣き等より漸く落著きを見るにあらざるか然れども直市場は恐怖の狀態にあり（大阪特電）

鮮銀滿洲店長會議

鮮銀滿洲支店長會議は去る十三日より奉天に於て開催中の處愈々十八日を以て終了せり同城本店よりは阿部營業局長列席の上連日討議せしが其重なる議題は一、滿洲各地に於ける邦人の新起業に對する關係二、滿鐵沿線及び奧地支店新設に關する件三、滿洲各支店と支那内地及び對外爲替の狀況並に將來の方針四、支那銀行及び支那商人の取引に關する件外總て十一箇條にして何れも業務上の打合せをも爲したり（奉天特電）

中村都督通過

中村關東都督は十九日朝大阪驛通過東上せり（大阪特電）

阿部局長奉天發

朝鮮銀行滿洲支店長會議に列席の爲め奉天したる阿部營業局長は會議終了後十八日夜鐵嶺視察の途に就き十九日夜出發歸鮮の豫定也（奉天特電）

總督音觀

長谷川總督は今秋尾濃の平野に於て擧行の筈なる秋季大演習に對し陪觀被仰付らるゝ旨十八日御沙汰あり其の京城出發期は多分十一月初旬なる可し

機運は水の流るゝが如し
聯絡の要衝たる釜山港の設備如何
關東都督　中村雄次郎男爵談

關東都督陸軍中將中村雄次郎男の東上を關釜連絡船壹岐丸の船上に送る中將は滿然慈父の如き眼を以て記者を引見す記者は先づ滿鮮鐵道統一に對する中將の配慮を煩はしたる旨を謝せば中將は『産業開發は國本の要素なり部分的に經營み難にするは

▲進展の策に非ず　交通機關に於て其意味一層深し滿鮮鐵道の統一即ち茲に在り』と語るや更に語を次で『京城には近頃兩三回は往復したることあれど釜山には久々振なり朝鮮が總てに於て著しく面目を一新したるは誠に以て結構のことなり』とて種々見聞の結果に就て談ぜらるゝ次に釜山港設備に就きて同中將は曰く『三線連絡及び船腹不足の爲めには勢ひ鐵道便に依る滿洲及び朝鮮鐵道沿線よりの移出貨物は此後は倍々增加すべき

▲傾向なるに對し　釜山港灣の設備は果して之れに對應すべき準備ありや見渡す處にては敢て其準備を完ふせりとは思はれざるを遺憾とす聞く處に因れば朝鮮鐵道院の經營に係る關釜連絡船の船腹に餘裕乏しきと山陽線の輸送量に限りある爲め貨物の停滯を釀せりとのことなるが鐵道院に於ても後藤總裁主として鐵道輸送の改善を企圖し熱心に盡力中なれば近く山陽線の復線も完成すべく連絡船に就きても

▲適當の設備を加へらるべし滿鐵は滿洲を本位として建設したる關係上大連を主要とし釜山に疎なるべしとの推測を爲すものなきに非ざるも機運は不動にあらず恰かも水の流るゝが如し自然に因るものなれば殊更に大連に厚く釜山に薄うするが如き區別はあるまじきものと思ふ釜山港に對しては滿鐵に於ても將來は相當の設備を加の要あるべしと信ず（釜山）

對支縱談
交銀借款顛末
支那交通銀行顧問　藤原正文氏談

新たに支那交通銀行の顧問に聘せられたる元朝鮮總督府理財課長藤原正文氏は北京より東上の途次十八日午前六時一分釜山驛著直ちに同氏の姉婿なる農工銀行專務森本市郎氏の宅に投ず記者は氏を訪ひ交通銀行借款の經路並に支那經濟界の狀態を聽く氏は語りて曰く

自分は去る六月十五日東京を出發して北京に赴けり其の際の考は歐洲戰亂後我國に於ける經濟上の變化は資本家をして支那大陸に向て

▲企業を促がすの運勢に到るべきを以て此際親しく支那に於ける經濟狀態を視察せんと欲せしに過ぎざりしが彼地へ到り種々の方面に亙りて調査の結果各國資本家の活躍の狀況及支那有識者間の覺醒せる狀態に照して奮起を要すべき緊急なるを感じたる折柄曹汝霖、陸宗輿の諸氏より交通銀行の業務整理を目的とする經濟借款の交涉を受けたるを以て之れが成立を計るべく助力を爲したるに去月二十八日圓滿に契約の成立を見るに至れり同借款は世人の周知せる如く

▲純然たる經濟借款なるが交涉當時は種々臆測の噂を流布し甚だしきは該借款の形式は交通銀行相手の經濟借款なりと雖も事實は段祺瑞を援護すべき政治借款なり五國財團の關係上我國の政府に借款を爲すことを許さゞるを以て斯くの如き形式を採りたるものなり爲めに總統及び閣員一部の反感を買ひたるのみならず内外の不信を招くものなりと内地の有力なる新聞紙に誤傳せられ爲めに交涉の局に當れる自分等にも少からず迷惑を感じたるが斯の如く日本人が濫りに

▲揣摩臆測を逞うして事實を誤傳する爲め唯さへ誤解せられつゝある日本人に對し支那人より猜疑の眼を以て迎へらるゝことは我國の支那に對する國交のみならず總ての交涉關係に及ぼす障害は決して尠少にあらず然れども亦一面に於て日本人の同國に在留せるものは商店の番頭丁稚に至るまで支那の政情を語り國勢を論ずるは此等餘儀なき事情の存するあるを知るべし同國の如き國體安定せず不安の狀態にあるを思はば強ち無理ならぬことなるべしと雖も較じて

▲日本と支那とが如何なる國際關係を有せざる可からざるかを考ふれば多少の顧慮なかるべからず、自分は信ず政府が如何に日支の親善を政策の上に施し政府が日支親善を唱ふと雖も國民に於て之を阻害するが如き言動を敢てするに於ては益々彼國民の嫌觀を招き他をして乘せしむるの機を作るものと云はざるべからず、個人關係に於ても利害相關するに於ては互ひに胸襟を開きて相談するは普通實際に於て讓歩の座を繕ふに勝ること萬々なり此意味を以て自分は今度交通銀行の依囑に因りて

▲同銀行の顧問たる可きを承諾せし理由なるに外ならず要するに邦人が從來支那の國民性及び總ての事情に甚だ迂なりしに基因せるものと云はざるべからず然るに近時相當有力者の渡支視察を試むるもの少なからず且つ我邦の大資本家は殆んど其代表員を派して諸種の方面に涉り畫策を爲しつゝあるを耳にせり斯の如く有力なる資本家の支那企業に著目するに至りたるは歐洲戰亂後の我邦の經濟上の位置を顧慮し今日にては自然に發奮せしむべき

▲機運に向ひたるに據るものなりと云はざる可からず滿洲は素より我れの勢力範圍たるを以て閑却すべきに非ずと雖も今日我邦の使命は進んで支那全土に及ぼす餘力あるべしと信ず（釜山）

朝鮮貿易
十月上半の狀況

▲輸移出入高　十月上半の朝鮮貿易は輸移出品價三百二十九萬四千七百餘圓、輸移入品四百六十一萬二千九百餘圓、合計七百九十萬七千七百餘圓にして出入の權衡は百三十一萬八千二百餘圓の入超を示せり、而して之を前年同期と比較するに輸移出に於て百四十萬五千五百餘圓、輸移入に於て百二十三萬六千六百餘圓の共に增進を見たるを以て合計に於ては二百六十四萬二千百餘圓の激增を告げたり

▲累計貿易高　次に一月以降累計額を見るに輸移出六千八十九萬六千餘圓、輸移入七千四百六十二萬八千餘圓、合計一億三千五百五十二萬五千餘圓にして貿易の權衡は一千三百七十三萬二千餘圓の入超となれり尚ほ之を前年同期に比するに輸移出に於て二千百五十四萬一千餘圓、輸移入に於て二千二百二十三萬二千餘圓、合計四千三百七十七萬三千餘圓の增進を示せり

▲出入金銀高　又た十月上半の金銀貨及び金銀地金の輸移出入狀況を見るに出高に在りては金貨及び金地金三十六萬八千七十三圓、銀貨及び銀地金三千圓合計三十七萬一千七十三圓にして前年同期に比し六十八萬一千三百圓の減少を呈し入高に在りては金貨及び金地金二千八百四十六圓にして銀貨及び銀地金の輸移出なく前年同期に比すれば十一萬二千餘圓を減退せり、次に一月以降の累計額は出高に在りては金銀貨及び金銀地金を合し七百五十五萬六千七百八十五圓にして前年同期間に比し五百七十三萬餘圓を減じ入高に在りては金銀貨地金を合し三十三萬八千五百十七圓にして前年同期に比し百二萬七千六百餘圓を減少したり

株式の瓦落
慘澹たる狀況

最近内地株式市場に於ける株式の崩落は紡績船舶取引所株等の中堅も激落に激落を續け慘澹たる相場を現はし居れり乃ち主力株に就き其本年の最高値と十八日の安値を比すれば左の如き大幅を生じ實に鐘紡郵船の如きは百四十乃至五十圓安、大阪株式は二百六十圓安ていう殆んど信せられざる程の差異を生ぜり乃ち左の如し

	七月最高値	十八日の出來値
鐘紡舊	三三〇、四〇	一九〇、四〇
鐘紡新	三二一、〇〇	一六九、〇〇
商船	一八四、〇〇	一六八、九〇
郵船舊	四二〇、〇〇	一七五、一〇
郵船新	三四、五〇	二五一、五〇
大阪株式	四三〇、〇〇	一八九、〇〇
東紡	一七九、八〇	一四五、〇〇
尼紡	二二九、九〇	一三〇、〇〇
合同紡	一一三、九〇	二七、〇〇
東土	一六一、〇〇	一八二、〇〇
大阪鐵工	一二四、九〇	八二、〇〇

如斯瓦落は之を單り日本郵船の株四十四萬株のみに見るも其の値下りは六千萬圓の大下りとなり又右記主力株以外何れも大小の崩落に遭ひたるため有價證券融通力の大減退をなせる事を知るべし何故株式がかくも悲慘の低落を演出せしやと云ふに其原因は節るも多端なるも要するに米國の金塊輸出禁止並に制限鋼鐵の禁輸其他を主とし英佛方面の各品禁輸並に制限等の障碍ありてのみならず又支那方面は僅に開けたる少しも銀塊の高値は日支貿易を必ずしも順調ならしめず要するに國貿易の梗塞を主要原因とすべく之に加ふるに諸株が熱狂相場を出せし反動の來れる事並に業者が最近に至り貸出の警戒を嚴に加へし事金利の引上等も若干與つて力あるべし唯荷崩落を繕ふべきや否やは豫言し難きも株式市場兎に角落著かば又々其の抬頭を見るべしとも云ふ人あり

定例長官會議

十九日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官、局長、所屬官署長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合の上正午散會したり、因に長谷川總督は微恙の爲め自邸に於て政務を執り當日の會議には列せざりき

醫師試驗日割

總督府醫師試驗は來る二十二日より京城醫學專門學校内に於て施行其日時割は第一部（物理化學生理解剖試驗）成績は廿五日午後發表第二部（病理外科藥物内科）三十日午後發表第三部（眼科産科婦人科學衞生學）十一月五日發表等にして第四部臨床試驗は日時未定なりと

岡正矣氏の訃

元京城電氣株式會社專務取締役岡正矣氏は去る頃より東京に歸へり病氣療養中なりしが藥石効なく終に十八日東京府荏原郡大井町千百十三番戸の自邸に於て逝去せり

露糧食長入京

露國極東糧食委員長エン、ペー、マトウエーエフ氏は十九日朝南大門驛著入京、總督府に久水外事課長を訪ひ入京の挨拶を爲したる後鳥居通譯官の案内にて水道電氣事業に關する視察を爲せり

鮮銀總裁東上

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は東上を要する機務を生じたる爲め廿日午後七時五十分南大門驛發列車にて秘書官曾禰安輔子爵同道直路東京に向ふ事となりたり

石塚總裁發期

入京中の東拓總裁石塚英藏同理事高瀨梅吉の兩氏は來る二十二日午前九時十分南大門驛發列車にて直路奉天へ向ひ支店開業披露其他の要用を終り更に大連に南下し社務を辨せし後高瀨氏は奉天に駐まり石塚總裁は北京に向ひ來月十五六日までに京城歸著の豫定なるが總裁には清水秘書役隨行の筈

持地長官歸任期

内閣及び遞信省と事務打合せのため東上中の持地遞信局長神田副事務官の一行は來る二十日頃東京出發途中大阪に立寄り二十五六日までに歸京の筈なりと

松永長官視察

松永京畿道長官は山内書記官を隨へ十九日午後一時南大門驛發列車にて水原郡事務狀況並水原慈惠醫院狀況視察の爲め出張廿日午後歸任の筈

藤原正文氏東上

支那交通銀行顧問藤原正文氏は十八日朝京城より來釜同夜高麗丸にて東上せり（釜山）

高橋武官出張

總督附武官高橋陸軍少將は軍隊視察並に地理實査の爲め往復七日間の豫定を以て二十日午前八時三十分南大門驛發列車に搭乘群山、全州、光州、木浦、太邱、大田、馬山、浦項各地に出張の事となれり

久保局長歸任

中村關東都督見送りの爲め釜山迄出張中なりし滿鐵京城管理局長久保要藏氏は十九日午前八時五十分南大門驛著列車にて歸京したり

橫井實郎氏赴任

滿鐵業務研究所職員に任命されたる元京管汽車課長橫井實郎氏は二十日午前九時二十分龍山驛發大連に向つて出發赴任すべしと

堤鮮銀司事東上

過般露都より歸朝せし鮮銀司事堤嘉三氏は十八日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上せり

朝鮮醫學會例會

二十日（土曜日）午後二時より京城醫學專門學校講堂に於て朝鮮醫學會京城支會例會を開催する由演題如左▲頭腦膜外傷後手術後患者供覽（岡忍）▲病的の胎盤（金杉英五郎）▲鶏卵孵化に於ける卵白及卵黃中に存在する有機性乳酸の意義に就て（小林晴次郎）▲朝鮮産家蠅の繁殖處所に就て（佐藤剛藏）▲初生兒子癇（久保武）▲朝鮮再歸熱（スピロヘーテ）の動物移植（金杉英五郎）▲本年京城に流行せる赤痢の糞便檢査成績（金杉英藏）

人

▲正誤　十八日夕刊川上東拓理事北方より入京云々の記事は川上滿鐵理事通過の誤りに付正誤す

▲群山公立農學校職員生徒三十名　十八日午後入京東京高等普通學校へ

▲安住時太郎氏（辯護士）　十九日午前大邱より歸京

▲京城中學校職員生徒九十六名　十九日午前安東へ

▲岡本常次郎氏（北鮮日報社長）　十九日午前元山へ

▲平壤農業學校職員生徒二十六名　十八日午後入京

▲京城高等普通學校職員生徒二十三名　十八日午後第一浦より歸京

▲高瀨セルブレーザー株式會社支配人　十八日午後東京へ

▲岡田直三郎氏（專賣局長）　十八日午後仁川より歸京

▲石島尚治郎氏（救世軍大將）　十八日發一週間の豫定にて南鮮地方へ

彼れ此れ

○獨軍の、リガ灣頭に於ける、活動に對し、露都の威嚇なりと、傳へらるゝも、吾等は他に疑問を有す。即ちリガの陷落せるは、八月下旬也、獨軍は以降二箇月間は目覺しき活動を行はず。若し獨軍にして、今回の如き擧を、敢てなさんと欲せば、此の二箇月間に於て、當然爲すべきの機多かりし也。然るに何を苦しんでか、將に結氷期を目前に控へたる今日、遽に陸海軍の新行動を計畫せしや。其の目的と爲す處、唯に露都威嚇のみには存せざるべし。

○吾等の、近頃大に苦痛に感ずるは、京城に於ける、時間の不經濟使用也。試に見よ、午後六時開會の會合など、が、午後八時に至つて、漸く開會せらるゝの例は、決して尠少に非ず。是は自他共に、時間上の大損害たるを知らざるや。殊に規定の時間に、參加せざる者に至つては、他人の迷惑を、屁とも思はざる不德義者也。何人も言ふて、行はれざるは、實に京城に於ける、時間の不經濟使用也。

商業登記公告

株式會社三越吳服店ハ第壹回社債總額金六拾萬圓ノ内金八萬五千圓ヲ第五回、金八萬五千圓ヲ第六回社債トシテ大正五年九月五日ヨリ大正六年十月五日ニ至ル間ニ償還シ第壹回社債殘額ヲ金參拾五萬圓ニ變更シタリ
右大正六年拾月拾貳日登記

朝鮮外洋株式會社支店設置 商號 朝鮮外洋拓殖株式會社 本店 京城府黃金町貳丁目參百九番地 支店 關東州大連市壹丁目貳拾五番地 …［以下判讀困難］

右大正六年拾月拾參日登記
京城地方法院

商業登記公告

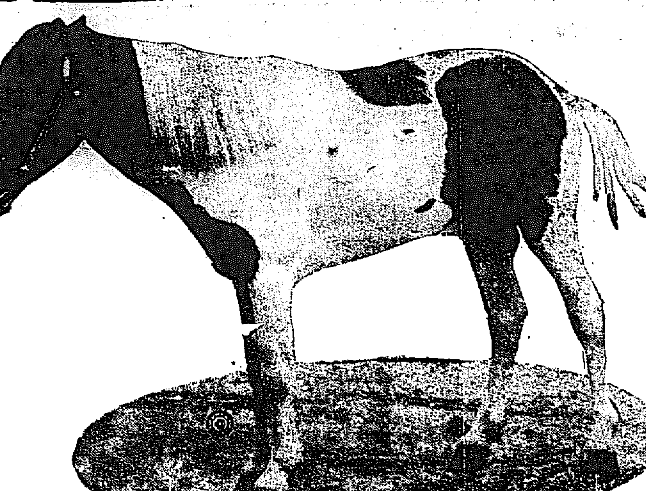
商號 ［判讀困難］ 設立 … 朝鮮紙ノ委託販賣 …
右大正六年拾月拾八日登記
京城地方法院安城出張所

◆朝鮮産駿馬獻上

聖上陛下へ―長谷川總督より

口長谷川總督は朝鮮産馬が小柄なるに拘らず、其の骨格逞ましく姿容凛々しきものあるを見、之を畏き邊りに獻上の志あり豫て鮮內を物色中なりしが此の程三五頭の駿足を得たるより其の內更に一頭を選びて、獻上の事に決し、今回之を發送したるに同馬は十三日無事東都に著し直ちに主馬寮分廐に繫留せられ、茲に全く獻上の手續きを了し御嘉納の榮を擔へり

口今次の獻上馬は濟州島産にて光州憲兵隊の飼育せるもの、體尺四尺二寸體量四十二貫、白に栗毛の斑あり、年十歲壯にして體軀の發育完全に近く、性溫順なるも而かも悍威あり、朝鮮産馬としては稀に見るの逸物なりと承はる



刻苦精勵の芬蘭人

―露國の旅は苦痛と不便―莫斯科全市に赤十字旗飜る―氷山累々

●強烈なる敵愾心から

余は歐洲留學の爲め露國を通過して瑞典諾威より北海に出で英國から佛蘭西に向ひ目的地たる瑞西に入つたのであるが其の飛脚的の瞥見に從つても

■交戰各國■ の慌だしい戰時的氣分は種々な色彩をもつて現はれてゐた露國は中歐文明に比較すると一世紀以上も遲れて居るかと思はれる程で觸威接目の殆んど總てが不愉快の印象を與へられる先づ鐵道にしても戰前萬國寢臺會社が經營して居つた時代は列車ボーイが

■各國語を■ 用ひたが現今では露語以外に通用しないし獨逸語は絕對に禁ぜられて居るから究然啞の旅行と同樣で其の不便さは言語道斷であつたペトログラードに入ると日本であれば猛夏八月の候に雪が降ると言はれて居る丈けあつて氣候が惡く

■殊に戰爭■ と革命とが旋渦的動亂を起して居た當時とて一寸も落著いて居る事は出來ない莫斯科も又同樣で一度足を踏み入れると蕭寂た寺院と赤十字病院とが著しく目を惹く殊に同市は戰線に近い關係上數多の傷病兵は每日移送される其れを收容する赤十字病院は

■公共團體■ の手で經營される計りで無く俳優や鐵道其他種々な組合が自ら進んで建てる爲め市中到處に赤十字旗が扁飜として其數は實に何百を以て數へる程であつたペテログラードから芬蘭に入ると露國の屬領であり乍ら人民は露國に反感を抱いてゐて言語も露語を用ひないで

■瑞典語など■ 用ひヘルシングフォルスの如き都會では敵愾心の高潮する處政治衛生教育の上に現はれて何でも露國人以上の施設を試み、發展を期し機會だにあらば露國の羈絆から脫して獨立し北歐文明の精華を發揮せんとして芬蘭人總てが異常な努力を以て

■刻苦經營■ して居る斯樣に芬蘭人は露國民を見る事仇敵の如くであるに反して日本人と見れば十年の知己の如く好意を表して大いに歡迎するから露國官憲は益々猜疑の目を光らして芬蘭人を壓迫する日本人の行動には嚴重な監視を懈らぬと言ふ具合で不愉快此上も無い

■芬蘭から■ 瑞典に渡航するにはトルネオで嚴重な檢査を受けねばならぬ其の遣方が頗る峻酷な者で日本の新聞記者や旅客にして獨逸語の研究書や日記帳までも沒收せられた者は尠くない何人もトルネオの關所と言へば顏を顰めて嫌がる程である余は幸にして

■秋山將軍■ の隨行員として携帶品の點檢を受けず無事に通過する事を得たが朝鮮を發して芬蘭に出で氷山累々として押流るゝボスニア灣に沿ふて瑞典に入るまでは極て不便な苦痛の旅行を續けたのであつた(總督府醫院有馬醫官談)

◉珍しい尤物

大島副官談

總督より朝鮮産馬獻上に就き大島副官の談に曰はく朝鮮馬は矮小ながら却々骨格の逞ましいものがある、今回は他に

◆二三の良馬 もあつたのですが特に之が撰むで居たのであつた御承知通りの體軀であるから乘用に適するものは極めて稀である此の馬は重い馬具を附け二十貫位の人間を乘せても綽々たる餘裕を示し

◆乘り心地も 頗る結構な尤物です、前總督も曾て朝鮮産馬を獻上されたことがありましたが、其の馬は今は居ない樣に承知してゐます、今度獻上致しましたのは十九日邊り御叡覽あらせらるゝやに漏れ承つて居ます、馬の名ですか夫れは命名しないで獻上致されました

◉電信手から大會社の專務

逝ける岡正矣氏

十八日夜東京府下荏原郡大井村の自邸に長逝した京城電氣會社專務岡正矣氏は伊豫松山の藩士秋山久敬氏の二男で安政二年一月十九日出生其後岡家を繼ぎ明治廿三年

■日本鐵道 に入り電信手となつたが二十九年には早くも遞信省の鐵道技師に昇進し其翌三十年鐵道事務官たり三十五年官を辭して日本鐵道に入り三十九年統監府鐵道管理局の事務官に轉じ

■四十四年 日韓瓦斯電氣會社に支配人として入社したが大正元年岡崎專務の歿後現位地に推されて今日に至つた家族は夫人しん子との間に二男三女あり長男は高松瓦斯會社の支配人である氏の得意時代は鮮鐵運輸部長時代であつたらしく

■時の長官 大屋權平氏を扶け縱横畫策飛ぶ鳥を落す勢ひであつた電氣會社に入つてからは健康兎角勝れず社交界にも餘り努めて出ないやうであつた酒量も以前は可なり多かつたが近來は

■頗る節し てゐたらしい又將棊は一寸素人にしては強い對手であつた陶堡氏には軍事參議官秋山好古大將並に第二水雷戰隊司令官秋山眞之少將の二弟あり共に

■吾が軍界 に重きをなしてゐる、で氏は自ら『俺は愚兄だ』と稱してゐたが何等の學閥を有せず一電信手より高等官三等たり又九百萬圓の大會社の專務に經上つて氏も凡人ではなかつた

◉灰の中から證據の紙幣束

▽二人殺し犯人の自白

本年九月十八日夜金海郡長興面上西月松里の山中假小屋にて釜山鎭府住穴倉惣七郎山內喜惣次兩人が何者にか慘殺され假小屋は火を放ちし爲め全燒し屍體も黑焦となりたる事は當時詳報せしが其後居たる興分隊にて犯人嚴探中長興郡南上面月松里居住金文玉(四〇)同所柳京贊(四二)秦斗贊(三二)三名を有力なる嫌疑者として引致取調中なりしが彼等は强情にして自白せざるより家宅搜索を行ひ或は山中を隈なく探す等苦心の結果本月十三日に至り遂に嫌疑者たる秦斗贊方の便所の灰の下に紙幣百七十圓を埋藏し居たるを發見し證據物件を眼前に突付けて追究せし爲め遂に秦斗贊、金文玉は犯罪の全部を自白するに至りたるも柳京贊のみは尙否認せしが三名は取調べの上光州地方法院檢事局に送らる(光州)

◉京都院展開期

京都に於て開催さるべき美術院展覽會は二十七日より開會すべし(大阪特電)

◉鑛業權廿萬圓

損害賠償訴訟

平壤櫻町西川清次佐川源次の二人は京城辯護士崔鎭を訴訟代理人とし平壤南門町久保順吉に對し損害賠償金二十萬圓の請求訴訟を平壤地方法院に提起せり其の要旨に依れば久保の經營なる金鑛時價二百萬圓の鑛業權は兩人に於て先願權を有するものなるに拘久保順吉は權利を無視し譜願許可を受けて鑛業權を獲得したるは不法なりと云ふにあり尙被告側にては京城の武知正方氏を辯護人とし本月十五日午前九時より平壤地方法院民事法廷に於て原被兩告の口頭辯論ありたり(平壤)

◉進行中の客車爆發

乘客三名擲ね飛ばされて負傷

長崎線早岐、佐世保間に於て汽車進行中二等列車內に於て突然爆音起りたるを以て直ちに車掌等驅著けて取調べたるに右は同車內腰掛の下に直徑五寸餘鐵製圓形の爆烈彈ありたるが其何物とも氣付かざる中に爆發したるものにして之れが爲め列車の窓硝子は全部粉碎し木片は裂けて飛散し車體のみ殘れり乘客中宮崎縣南沃肥町の縣會議員中島富義、神戶鈴木商店名古屋支店員高山猛外一名は爆發の際擲ね飛ばされて負傷し火は腰掛の布團に燃移り火災を起したるが日宇驛に至り消止めたり何者の所爲なるや未だ判明せず(長崎電報)

◉阪神電車徒歩聯絡

阪神電車は浸水の個所危險につき十九日朝より徒歩聯絡をなすこと成れり京阪電車は單線丈け十九日より開通せり(大阪特電)

◉降雹

江原道平康郡南面亭淵里附近にては本月八日午後五時頃約十分間に亘り直徑五分位の大きさある雹降り農作物の被害五百餘圓に達せりと

◉降霜と薄氷

江原道三陟郡上長下長兩面にては本月五日氣溫攝氏五度に下降して降霜及び薄氷あり昨年より寒氣早く爲めに農作物に多少の被害あるべしと

讀者文藝 (一等に五十錢の圖書券を呈す)

△川柳『仕度』

○嫁入仕度を妹が廣告し(一等) 京城府元町二丁目八 江口 松花

▲常世波手も切れさうな仕度金 利川 守子

▲旦那選仕度に烏カアと明け 仁川 花翁

▲仕度部屋障子に小さい指の穴 京城 浪史

▲飲む仕度姐に八ッ當り 元山 黑坊

▲小泥棒取らうちから逃げ仕度 龍山 小草

▲白足袋穿いて內儀は逃走度 京城 村泉己之介

◉故青山氏追悼會

故元李王職事務官青山淺次郎氏の追悼會は十八日午後四時三十分より若草町曹洞宗別院に於て擧行せられたるが李王職總督府の各高等官を始め其他友人知己約百名に達し頗る盛儀なりき

◉病苦から自殺

島根縣那賀郡松山村生れの毛利白英(三五)は元滿鐵沙河鎭驛の貨物係を勤めたりしが不治の難症を悲觀し十四日午前五時頃安東縣山下町踏切り附近にて進行中の列車目覓けて覺悟の自殺を遂げたり(安東縣)

◉理髮業者に訓示

京城本町警察署にては十九日管內內地人理髮業者を召集し衛生設備に關する訓示をなす所あり二十日は同樣朝鮮人側を召集すべしと

灯とも頃し

▲岡中將の飛行機に關する講演は時節柄非常に興味を惹いて聽衆に多大の感動を與へたが▲釜山上陸以來中將の講演に依つて帝國飛行協會に入會する者多く一地方尠く共六十名から百名以上にも達するので中將の滿足は此上もない▲京城では兩新聞社主催の講演會で航空界と歐洲戰と題して趣味津々たる講演をして最後に飛行協會の會員募集をすると▲聲に應じて數十名の應募者があつたが中にも本町通りの實業家高木德彌氏は全家族十名を入會せしめたのは愉快な感がした▲京城神社の祭典には日鮮人擧つて祝意を表したが此の祭典に依つて日鮮同化が現實化されるのは慶ばしい現象であるが▲年々歲々鮮人にしてお賽錢を上げる者が增加するのは神社の本體が敬虔に理解されて行く證であるとは某紳士の觀

▲指紋研究

渦狀紋は福德の象でない

…總督府醫院久保博士談…

總督府醫院久保博士は目下指紋の研究中であるが此れに關し語る處に依れば指紋を大別すると渦狀紋と蹄狀紋、弓狀紋の

◘三つに區分 され其中の渦狀紋即ち渦卷形の指紋は古來から福德圓滿の象徵として重せられ來つたのであるが比較研究の結果に依ると渦狀紋は未開人類に多く高等人類に尠く從つて渦狀紋の多い者程殘忍な性質を帶びては居まいかと思はれるのである、此事に就いては犯罪人と指紋に關し

◘實際の研究 に當つてゐる監獄の指紋係なども常に言つてゐる事であるが、此れを數字上から觀察しても或程度までは信ずる事が出來るのである例へば西洋人の渦狀紋は三十%に過ぎないが日本人には四十五%朝鮮人には四十五%同婦人四十六%で更らに

◘未開人類に 至ればもつと多くなり猿類などに至つては渦狀紋許りである之に反して蹄狀紋の多いと言ふ事は人間の福德圓滿を語る所以の者で西洋人には六十五%もあるが日本人には五十三%朝鮮人には五十二%同婦人は五十一%で渦狀紋の多い者程蹄狀紋は少くなつて居る樣である以上の統計は

◘僅かな材料 から研究し得た者で未だ斷定を下す事は出來ないが兎に角從來一般に信ぜられて居つた渦狀紋に對する觀念は破られて反つて蹄狀紋の多いのを以て貴重すべきであると言ふ事は斷言するに憚からぬのである余は斯る觀方から類推して更らに人種の相異を研究し人相に依つて人間の個性を判別する如く指紋に依つて個性の研究をしたならば

◘非常に興味 ある結果を得るであらうし此れに依つて犯罪學上及び心理學上に新しい干係交涉を發見したならば世を益する事蓋し大なる者があらうと思ふ此外司法省が採用しつゝ有る獨逸漢保ステルの指紋法の分類に對して

◘改良意見も 有てゐるが未だ發表の機會に到らない何れ研究成り次第發表したいと思てゐる

◉列車に觸れて頰と胸に重傷

北進し來れる二時四十五分著急行列車に觸れて右頰と胸部に重傷を蒙りたると因に同人は金泉南山町

原道迪川郡臨南面長箭里居住坑夫金大元(三七)は數十名の坑夫を指揮して金剛山九龍淵の奥地にて

水飴を一斤二圓の割合にて七十斤を故買し十月二日長箭に持ち出し

二等客(一等)八名 菅藤保、同喜佐、祖羽清次、安藤又三郎、同美津子、同吉子、未人二名 三等(五十四名)

中山彦松、同地良、同しゆう、同千代、五島はる、篠原朔、杉田消三、永松清、今田一郎、村在利、呼和光治、櫻樹林 三等(二百十五名)

十八日午後一時二十分釜山入港

讀者文藝 課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲贈賞は一週間毎 ▲種類の異る毎に用紙を更へる事

天氣は 晴れ一時曇り (十九日午後六時より二十日午後六時迄)

十月二十日 日出 午前六時十五分 日沒 午後五時十八分

商況

債券現物特電

十八日出來値 東京拓殖 ― 東洋拓殖 ― 京城電氣 ― 朝鮮銀行 ― 滿洲鐵道 ―

東京公債直取引

十九日出來値 五分利特別 八一、六〇〇 五分利甲號 八〇、八三〇 一回四分 ― 二回四分 ― 五分 九六、三〇〇

深川正米特電

十九日現在高 朝鮮米 一四二、七一四 臺灣米 ― 內地米 四五七、六八二

東京期米特電

十九日前場 寄付 三三、七〇 高値 三三、八九 安値 三三、七〇 引け 三三、八六

大阪株式特電

銘柄	拂込	十八日前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	―	
京阪電鐵	五〇、〇〇	一四六、五〇	
東洋紡績	五〇、〇〇	六八、〇〇	
尼崎紡績	五〇、〇〇	一五三、五〇	
鐘淵紡績	五〇、〇〇	一九九、一〇	
同上新株	五〇、〇〇	一〇八、六〇	
東洋汽船	五〇、〇〇	一九九、五〇	
大阪商船	五〇、〇〇	一八〇、五〇	
日本郵船	五〇、〇〇	一三三、五〇	
同上新株	五〇、〇〇	一四〇、一〇	
堂島米穀	五〇、〇〇	一六七、一〇	
東京株式	五〇、〇〇	―	
東京新株	五〇、〇〇	一七七、五〇	
大阪株式	五〇、〇〇	―	
大阪新株	三、五〇	―	

大阪三品特電

十九日前場 十月限 一三三七、〇〇 十一月限 ― 十二月限 ― 一月限 ― 二月限 ― 三月限 一三四、〇五

大阪期米特電

十九日前場 當限寄付 三三、八六 中限寄付 ― 先限寄付 ― 三節 九〇 六節 七九

下關期米特電

十九日前場 當限 中限 先限 寄付 三三、四〇 三三、五五 三三、七〇 高値 三三、四〇 三三、五五 三三、七〇 安値 三三、二〇 三三、三〇 三三、五〇 引け 三三、四〇 三三、五五 三三、七〇

雜報

◉三品底堅し 大阪三品 今前場は當限三十七錢先限三十錢方と底強く現物は今手二百二十圓方

綿布現物龍 十四圓二十五錢

シー七圓九十錢

◉三銘八圓二十錢 同地市中値 ⋯

◉株式立會不勢 相場大暴落の爲め十五日後場より十六日に亘り休會せし大阪株式取引所は十八日午前漸く立會を開始したるが休會中の賣買不勢にして同じく成行人氣悲々觀沈の機先とて更に下押し

日立て安かりしもの本邦船八圓二十錢同新株十一圓四十錢大阪⋯

◉生糸稍見直す 生糸は歐洲各產地の出盛不成績を傳へ本邦蠶絲又減收を告げたるに及び內外の需給増加を示せし⋯

◉白米卸値漸落 白米は原料の次第安に連れて日に之れを示し卸賣價は朝來二十四圓

二三十錢 或は小賣値段の値下げを見るや

◉特種品は多少割高 ⋯

望 在荷拂底の前途大に好 ⋯

◉雜鑛は不勢 ⋯

亞鉛 ⋯

錫 ⋯

安質母尼 ⋯

◉眞綿手堅し ⋯

◉乾蒔苔沸騰 至二十五匁見當 ⋯ 二十匁乃

圓迄棒下 千二百五十 ⋯

誓約 賣止同盟 ⋯

十八日の入電は千二百十圓

功を現はし漸次維持策の ⋯

◉正米更に下押 三十錢方安 ⋯ 新米普通

上物十九圓七十錢

◉綿布賣澁ぶり 買控 ⋯

出廻り困難の年內新物

次第高

南大門の廻穀

各地商況

大邱(十八日)

釜山穀物(十八日)

仁川期米

十九日前場 (强硬)

曇天 大阪天候 十三

錢高の入電 大阪三節九十

錢小高き入電 大阪の六

節小安き入電

依然强硬

市場零聞

白米標準値

小賣白米 二十四錢五厘

現金賣 一等白米 二十四圓三十錢 二等白米 二十四錢

仁川米豆取引所

十九日の十二月限

▲續て上伸す

▲大阪の續騰 人氣に

更に沸騰 高値は又警戒

稍落付き模樣

一順に人氣

期近跳ね返す 最高値より四

十六錢安に迄

▲稍鞘開き乎

▲擴大 大阪の鞘は又復

▲人氣動搖す

ナ 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長九〇五番 八三二番

サ 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長三六七・三六九

イ 今村覺次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番 三六八番

マ 廣瀬正次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 確實 迅速

田 田中金兵衛商店 期米賣買御引受 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目

◎…（慶北）に下車したる慶北衛生…別條なきものゝ如し…州郡多年面基洞居住米穀商鄭德國（…）にそれより線路橋を渡らずして直ちに改札口に出でんとする刹…

◎盗掘せる 水鉛鑛を故買

南大田本町二丁目居住の伊藤健藏（…）（三）愛媛縣生れ京城太平通二丁目居住古物商市川善次（四）の兩名は同地に出張して大元等の盗掘した…目下取調べ中

◎連絡船上陸客

十八日午前八時五十六分釜山入港高麗丸一…高井億太、大西むめ子、同とし子、牧宗一、荒蔭幹二、岡政治、杉山國作、原田すい、李泳均、田中實、杉原兎吉、同忠彦、同なか、同逸平、後藤せい、渡邊たつ、有似學雄、大井謙五郎、吉本太兵衛、小路菸三、同文子、島津かよ、加藤鐵三郎（二等）…村瀬…秋山正一、光岡たつ、…外二名…同ちん、…稻垣…山本保太郎、…三等一百四十八名

◆物は付（褒めるものは）…◆一口噺（其時々の事）◆下句付（護理故に）◆俗謠（…）◆川柳（…）
同二十日　同二十一日　同二十二日　同二十三日　同廿四日　同廿五日　同廿六日…
▲發表後一週間以内に割…又は同案…者には五十錢…籍券を呈す但何號と明記に…▲宛名は京城日報編輯局讀者係

●朝鮮の陸地棉　前途益々有望なり（五）

實棉の共同販賣＝指定販賣　大規模なる繰綿工場の設立

◆地勢上最も有望 なる陸地棉作付獎勵の施設に關しては費用と勞力を惜まず鋭意理想の目標に近づかん事を急ぎたるため年と共に其の効果は頗る著しきものあり斯くして折角獎勵されたる陸地棉作業も生産實棉販賣上の保護及び繰綿工業に對する施設の之れに伴はざりせば恰も龍を畫きたるに睛を點ずるを忘れたると同一の恨みなしとせず即ち未だ以て獎勵施設にして完全せりと誇るに足らざるや論なきなり茲に於て乎當初作付反別擴張に要する種子の散逸を防止せん爲め木浦に繰綿工場を設置したると同時に明治三十九年より四十四年に至るまで韓國棉花會社をして

◆獨占的に買收を 爲さしめつゝありし陸地棉は大正元年に至り之れを開放して他人の買收を自由にし又大正二年には陸地棉耕作者の利益を増進するの目的にて各道を通じ陸地棉耕作者を組合員とせる棉作組合を各郡に組織せしめ一方陸地棉は必ず共同販賣に附すべく定めたり、次いで大正三年よりは棉作組合若くは各郡廳に於て共同販賣の斡旋に努め耕作者の最も便利なる市場を販賣場所とし其の販賣方法は道長官が棉作組合の委任に依り實收商人及び價格其他を指定し總て現金取引を以て生産實棉の販賣を簡易に且つ安全ならしめて今日に至れるものなるが其間に於て

◆尚ほ多少の曲折 を免がれざりしと雖も陸地棉作獎勵上の支障を來すが如き事なかりしは幸ひなり即ち曩に朝鮮棉花會社が各棉採取圖に托し獨占的に買收したる陸地棉は大正二年には釜山田中善支店の經營に係る繰綿工場も共に之れが買收を指定し大正三年には永同山田覺氏の繰綿工場をも之れに加へて指定し大正四年には永同山田覺氏の繰綿工場に全部の買收を指定し更に大正五年に至りては神戸鈴木商店の經營に係る大邱繰綿工場の設立さるゝと共に同工場に變更し又本年道内に生産すべき陸地棉も同工場に買收を指定せられ居れり

◆蓋し指定販賣の 如きは殆んど他に類例を見ざる方法なりと雖も陸地棉の如き國家的産業の獎勵に際し未だ工業智識幼稚にして確實なる棉花工業經營者に乏しき未開の土地に在りては自然大事業家の經營せる新しき大工場を利用せざるべからざる關係上止むを得ざる現象たると同時に亦最も機宜に適したる方法といはざるべからず而して從來朝鮮人間に於ける繰綿狀況を見るに極めて幼稚なるものにして各戸槪ね婦女子の副業とし轆轤式繰綿器（一日の繰綿量十四五斤）に依り木綿製織原料を繰出し以て僅かに自家用に供したる位に過ぎず然るに大正五年に至り神戸市東川崎町合名會社鈴木商店は始めて大邱府七星町に

◆大邱繰綿工場 設立を計畫し敷地數千坪を買收して大規模なる工場及び倉庫漂白室等を建設し吸入瓦斯エンヂン公稱七十馬力モートル五十馬力マーカルシージン五十二臺シードオップ二臺オップ二臺動力壓搾器二臺手綿壓搾器二臺等完全なる機械の据付を完了すると同時に前述の如く道長官の指定に依り棉實の買收並に繰綿を開始するに至れり、されば同工場の設立に依り慶北地方に生産する陸地棉の販路を一層確實に保障されたるは棉作業者の均しく幸いとするところなるべきは言ふまでもなく今後陸地棉産額の増大するに伴れ同工場が一躍慶北工業界に首位を占むるに至る可を疑はざるなり

◎陸地棉作況

大田郡內に於ける陸地棉の作況は半年に比し二割減の見込みなるが本年の豫想收量は約二十五萬斤の見込みにして平均一斤に付二十錢見當の相場なりと

◎慶北金融成績

地方金融組合事業好調

慶北道内二十六箇所地方金融組合客月中に於ける營業成績を聞くに同組合員總數一萬三千八百五十九人に對する貸付金三十七萬千二百七十圓四十二錢預ケ金十一萬一千六百四十圓三十錢損失金三萬四千六百六圓五十九錢內純損金四百十五圓七十四錢を示し此の外借入金六百八千六百十二圓四十三錢預り金五萬七千八十六圓三十三錢純益金一萬千六百七十五圓九十八錢に達し居り結局一萬二千二百六十圓餘の純益金を算し居れり

◎兇賊 巡査補を斬る

江原道通川警察署長箭駐在所勤務巡査補劉永來（三）朴鳳憲（三七）の兩名は本年七月中金剛山三井鑛山千佛洞の採鑛所にて火藥庫、重石倉庫を破壞して爆藥及び重石を窃取せし犯人嫌疑者李德根を搜索中本月十日溫井里附近の飲食店金春澤方に德根を發見し直ちに逮捕せんと出張したるに德根は短刀を拔きて兩巡査補を相手に激しく反抗し互に格鬪中劉巡査補の右手に深さ骨膜に達する重傷外三箇所（治療約三週間）朴巡査補には後頭部に一箇所（加療一週間）の輕傷を負はせ其の隙に逃走したるが目下犯人の行衛を嚴探中

●群山床屋の同盟

群山に於ける理髪屋連中は最近化粧料の騰貴と燃料の暴騰を來し加ふるに…せるは一般當業者の最も苦痛とする處なりとし過般群山當業者等凝議の結果此際理髪料の値上を實行するか同業者全部の合同を圖り經費を節減して理髪料を引上げざるか其の二途に依らざれば經營困難なりとの衆議一決し其旨群山署に具申したるに合同經營を是として内示ありたる結果愈々理髪料は從來の儘値上せざることゝし群山全市の理髪業者合同して各個人の營業を廢し合同營業所を市内四箇所に定め十月一日より實行營業を開始したるが營業所の數の激減せると自然混雜を極むるに加へて客が一定の理髪職人に依つて理髪を受くる能はざるは頗る不便なるもの也

濤の砂

■居殘つて生殘る　千葉縣君津郡金谷村齋藤乙藏（一五）は外十四名の漁夫と共に…[illegible]

■老弓師の怪死　東京府下…[illegible]

■鬼陰亡の4首　…[illegible]

■恐ろしい毒婦　東京府下八王子…[illegible]

■頭を踏む祭　栃木縣那須郡…十五日施行されたが…[illegible]

■因果な娼家　東京洲崎の…[illegible]

◆京城に就職口が多い

郵便局の雇員

一時朝鮮各地殊に京城に就職口を求むる者が非常に多かつたが、近頃は内地の好景氣につれて是等の職を求むる連中が内地へ吸收されたものか近來減切り減少して、昨今では

▲却て雇ふ方で 人を探がすのに困つてゐる狀況である、此の影響は比較的收入多き巡査看守杯に及んで近時受驗者が著しく減少し、又た郵便局員の如きも雇員を得るに困難してゐるさうであるが、其れ故京城郵便局では目下雇員の募集をしてゐるが、其の學力は高等小學校卒業程度で差支へなく只だ郵便局とか遞信部內の人の

▲身許保證を要 するとあるので、折角の應募者も保證の點で無資格になる譯である。併し是は雇員に限らず電話交換手とても同じ事で矢張り部內の者の保證を要する事が採用の條件になてゐるが、其實市内に確實な保證人があれば、其人に下保證をさせて部內の人が表面保證に立つてゐる例があるから、保證の點は

▲市内に確實な 身許保證人さへあれば、誰でも採用される事になる譯である、而して郵便局雇員の給料は最初日給六十錢以上七十錢位で、勤續さへすれば事務の成績次第で漸次昇給する事になつてゐる。希望の者は京城郵便局へ出頭して庶務係に直接問合はするが好からう。

●古本の賣れる季節

貸本屋が困る

秋闌けて燈下書に親しむには最も適した氣候となり讀書子の心も緊張して來た今日此頃古本屋貸本屋から觀た

■京城讀書界 の傾向を聞くに京城は何と言つても官吏の都であるだけに店頭に陳列されて居る何れかは法律經濟の参考書類や專門雜誌で此種の書籍は捌けは好いが右から左へどし／＼捌けて行く從つて賣つて行く者が多く…投買りして行くのもあつて…あるが

■此頃の樣に 古本屋が困難になる店を張つて行く事も困難になり且つ品物が手に入らない爲め…しく客足を逸するので益々苦しいと滾す貸本屋は指を折るにも足りぬが何れも嫗を立たぬ有樣である貸本は重に講談物は癈つて浪花節…六水滸傳 花 松魚 風葉などの作が多く

■家庭小說や 悲劇物は…婦女子の間に歡迎されて居る…

■供給不足で ある隨筆物…は宜く賣れるが漢和辭典や英和辭典なども客足が堅く日蓮主義が盛んに鼓吹された當時は青年までが騷いだ者であるが最近は禪に關する書籍や碧眼集などが可成に賣れ新しい思想上の著作は一寸

■息詰りの體 である…

■古本漁りの 讀書子の何を覗ふに足るであらう如何なる階級に如何なる書籍が向くかと言ふ事は古本屋の店頭からは觀察が出來ないが京城の讀書界が年一年に盛んになりつゝ有る事は確かな事實で最近に至つて古本屋の數が

■急かに增加 …

●東大門校開校式

本年四月開校したる東大門公立小學校には既に校長清水氏も著任したれば近く開校式を擧行すべき計畫なりと

■呼聲會謠曲會　謠曲同好者を以て組織せる呼聲會にては來る二十一日午前十時より龍山あら王に於て秋季大會を催し會員の素謠、仕舞、囃子等ある由

■龍山登山會　大田湖南吟社同人及び有志二十餘名は十七日の祭日を利用し鷄龍山へ登山し一日の清遊を擅にする筈なりと

■中學生の登山　大田中學校に於ては本月下旬鷄龍山へ登山の計畫あり目下行程其他の調査中なりと

◎飛行會員募集　過般日本民間飛行會長長岡中將來田の際同會理事を囑託したる事は既報の通りなるが理事の外三名の委員を囑託し大田市中に於て約百名の會員を募集すべく目下奔走中なりと

◎送別擊劍會　大田武德館に於ては去七日午後一時より大田建設事務所在勤副島某大田警察署柳町某の兩氏辭職歸國に付送別擊劍會を開き頗る盛會なりしと

●球根類は今植付け時

球根の植付期節は十月から十二月迄の間としてあるが寒い地方では早い程便利である秋に植込む球根は大抵

■翌春に花 を賞すべきもので、即ちアネモネ、チューリップ、クロカス、ヒヤシンス、ナルキッサス…水仙などを云ふ種類である、中にもフリージャの如きものは…[illegible]…

■失敗の處 もないが…[illegible]…

■植込むに は深さ一二寸乃至四五寸、距離五六寸以上を常とし、淺きに失するよりは稍深い方が好い、淺い根を充分に下さぬ中に溫熱のために早く芽を出すことになるが、稍深めに植たものは春になつて始めて萌出るから生育上大層都合が宜い又鉢植のものは植込後成るべく

■寒い場所 に置いて充分に根を張らしてから發芽させるのは良いが、場合によつては反對に扱ふこともある、單に花を賞するから云へば殊更芽出を早める必要もあらうが、斯の如きは花を養ふとしては良くない方法である球根を植込んだ後は

■落葉切藁 なぞを其上に被せ霜除の手當をして置く、鉢植のものは凍らぬ程に時々水を注ぐ位の事は必要だが、地植のものは打捨て置いて差支ない、斯て春が暖を催して來ると、被覆物を撤去して極めて薄い水肥を一二回與ふれば間もなく蕾を出すものである

演藝案內

壽館　京城本町　電話一〇五〇
▲浪界の女王吉田小奈良一行　浪花節女王吉田小奈良一行滿鮮巡業中の處內地引揚に際し來る十九日より向ふ五日間限り興行仕候に付御當日より御來場被下度候
初日讀物　▲孝子正宗（吉田奈美丸）▲稻川東下り（吉田文子）▲美久仁の華（吉田奈良千代）▲謝勝鐵也（吉田照子）▲赤垣德利別（吉田奈良榮）▲赤垣泉岳寺引揚、佐倉義民傳（吉田小奈良）
特等七十錢、一等五十錢、二等卅錢、三等廿錢

有樂館　早川演藝部直營活動寫眞常設館
米國ユニヴアーサル會社特約　東京小林商會…一手代理店
電話二五九七番　▲日曜祭日晝夜二回開館…
▲喜劇 ○滑稽 コツクの失敗　▲米國エユー社製…▲人情劇 荊棘の花（全五卷）…▲新派…「電話…」…[illegible]

大正館　黃金町　電話八七三
（演連鎖町田郎茶室大詰）…◎家庭悲劇「人の情」全四卷…[illegible]

黃金館　電話二三六七、二三六六
…▲新派大悲劇「千葉刺次」…◎新派大悲劇「女詩人」全三卷…[illegible]

壽座　京城壽町　電話五七八番
喜劇連鎖…
第一番目　喜劇　入むこ　三場
第二番目　同　天の網　三場
第三番目　喜劇　葛の葉　三場
第四番目　笑劇　落穴　一場

稻荷座　本町五丁目
新派喜劇改正美團一行　第十二回目替り藝題
一番目　新己が罪　全六場
二番目　生人形　全二場

京城府告示第十四號
大正六年度京城府歲入歲出更正並同追加豫算左ノ如シ
大正六年十月十九日
朝鮮總督府京城府尹　金谷充

大正六年度京城府歲入出更正豫算

歲入經常部
第四款　財産ヨリ生スル收入
第一項　基本財産收入　金參拾八圓
經常部計　金參拾四萬七百參拾九圓
歲入合計　金參拾六萬九千百五拾四圓

歲出經常部
第十一款　基本財産造成費　金五百七拾六圓
第一項　基本財産造成費　金五百七拾六圓
第十五款　豫備費
第二項　削除
第一項　豫備費　金六千八百七拾七圓
經常部計　金參拾萬千七百七拾七圓
臨時部
第一款　補助費　金貳千圓
第二款　土木費　金壹萬六千貳百貳拾圓
第一項　道路橋梁費　金壹萬四千四百九拾壹圓
臨時部計
歲出合計　金參拾六萬九千百五拾四圓

大正六年度京城府歲入出追加豫算

歲入經常部
第四款　財産ヨリ生スル收入
第二項　産業獎勵基金收入　金九拾圓
經常部計　金九拾圓
臨時部
第一款　繰越金　金參千五百參拾五圓
第三款　地方費補助金　金參千參百圓
第四款　寄附金　金千圓
第六款　土地賣却代　金九千參百九拾壹圓
第七款　繰入金　金六百參拾壹圓
第八款　財産賣却代　金壹千九百五拾九圓
臨時部計　金貳萬九千貳百六拾九圓
歲入合計　金貳萬九千…圓

歲出經常部
第十一款　基本財産造成費　金千六百四拾九圓
第一項　基本財産造成費　金六百參拾壹圓
第二項　産業獎勵基金造成費　金千拾八圓
第十五款　勸業費　金七拾貳圓
第一項　産業獎勵費　金七拾貳圓
經常部計　金千七百貳拾壹圓
臨時部
第二款　土木費　金貳萬六千貳百貳拾六圓
第一項　道路橋梁費　金貳萬六千貳百貳拾六圓
第十款　府債費　金千貳百五拾九圓
第一項　元金償還　金千貳百五拾九圓
臨時部計　金貳萬七千四百八拾五圓
歲出合計　金貳萬九千貳百六圓

新券　月賦　初一六〇錢九回拂　即賣價入　送料十錢

六十六回新債券
同番號　二通　三通合せて五通一組
壹萬圓の殘福
舊券　貯債券　乙種初拂込一八十錢
小尾兩替店　大阪市東區安土町二丁目堺筋

宇治茶直接販賣
家庭の御慰安と來客の御接待に無くてはならぬ最も美味の宇治茶を直接販賣にして…
御銘茶定價表（二百目入）
◎玉露製　寶樹園…　老の梅…　桂の翠…　蘭の香…　旭の露…　菊の松…　龜の齡…　相生…
◎煎茶製　特製…　桃山…　國樂…　宇治の里…　松の司…　正折…　白友…　白…
▼御注文は…　▼但金高二圓以下は…
製茶問屋　井上六平　京都七條東洞院角

確實有利　金儲
特價　前金七拾八錢
…四六版紙數二百有餘頁…
東京市本所區緑町一丁目二三番地　大日本殖富獎勵會出版部　振替東京三五二九番

農商務省特許公報ニ曰ク
本發明ハ普通蓄音機ノ如キ齒車及ビ「ゼンマイ」ノ如キ破損磨滅シ易キ部分ヲ用ヰズ堅牢安價ナリ
クトウ蓄音機
專賣特許 第二五六八〇號 大正六年九月十三日 追加特許許可
並製 金三圓八十錢　特製 金四圓九十錢
東京神田今川小路一丁目　藤屋商會

最新發明!!!
富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著
價十五錢　郵税二錢
京城太平通　京城日報社代理部

特許で賣出した
雜誌規則進呈　東京芝區新櫻田町十九　平民法律所

第二十五回決算報告
資本金　參百萬圓
積立金　四百拾餘萬圓
貸借對照表…[illegible]
日本海上保險株式會社
大正六年十月十二日
監査役滿期改選ノ結果左ノ通當選重任
取締役社長　右近權左衛門
常務取締役　右近和作
取締役　近藤喜祿
取締役　八木千之助
取締役　右近麻次郎
監査役　中村三之丞
監査役　馬場道久

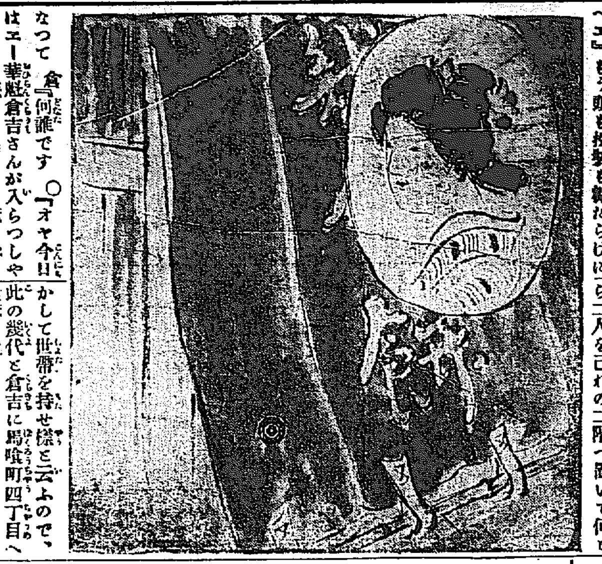
當會社專務取締役正五位勳五等岡氣の處養生不相叶昨十八日東京府荏原郡大井町一千百九十三番地自邸に於て逝去致候間此段謹告仕候也
大正六年十月十九日
京城電氣株式會社

左甚五郎

第五十九席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

倉吉は一心に働いて居りましたが恐しいもので塵も積れば山の例へ大變に金を主人に預ける樣なことになりました、相變ず倉吉は店で働いて居ると、或日のこと搗米屋儀兵衛の前へ駕が一挺止つて、附添の若い者が ○『エー少々伺います』儀『ハイ』○『搗米屋の儀兵衛樣と仰るのは此方樣でございますか 儀『ヘエ手前です ○『此方のお若い衆に倉吉さんといふ方は居りませんか 儀『ヘエ何か御用で ○『鳥渡お目にかゝりたいと思つて出ましたが 儀『倉吉や〳〵 倉『ハイ 儀『お前に用があると云ふ方が來た 倉『ヘエ』もう頭も扮裝も穢だらけになつて 倉『何誰です ○『オヤ今日はエー華魁倉吉さんが入らつしやいました 幾『オヤ然う』と垂を上まると幾代華魁だ 幾『オヤ倉吉さん 倉『エッ華魁何して 幾『お約束でねね、それからお家に宜い鹽梅に居て下されば宜がと若衆を頼んで此方まで來て貰つたので、今後から寄物を持つて來ますがね、旦那樣へ鳥渡然う云つて下さい 倉『へー』と云つたが、倉吉も夢ではないかと思つた、周章て家へ入つて來たが 倉『旦那〳〵あのお話しをした幾代華魁が來ました 儀『エッ』と儀兵衛も驚いて 儀『まア何にしろ表ぢやア仕方が無い『此方へ入れなさい、さア此方へ 幾『御免遊ばせ』と入つて來たが、イヤ何うも其の姿を見て儀兵衛も驚き 儀『オー若衆さん御苦勞さま ○『へエ何ういたしまして』と華魁が沙汰をしたから駕昇は禮を述べて歸る 幾『旦那樣お初にお目にかゝりますが、私は麥屋吉兵衛方の幾代でございます、去年倉吉さんがお出下さいまして、是々、妾の樣な者でも年が明けたら斯うして遣らうとか、あゝして遣らうと云ふ方もありました、けれども工面が宜いとか男の好いのは兎も角も此の家に勤めて居る倉吉さんの心地、男振りだの服裝なぞは構ひません、只だ愛情が洵に嬉しうございますから出ましたのですが、此の上ともに御當家さまへ御奉公に妾も猶且奉公人だと思召して御丹精を願ひたい』儀兵衛聞いて大いに感心をして、宜しいと云ふので是から二人を己れの二階へ置いて何とかして世帯を持せ樣と云ふので、此の幾代と倉吉に馬喰町四丁目へ世帯を持したのでございます、倉吉は儀兵衛の處へ行つて働いて居る、幾代は自宅で只留守番をして居てもつまらないと云ふ處から、淺草の見附前へ床見世で餡ころ餅を拵へて賣り始めた、赤前垂で美麗な女が餡ころ餅を拵へて並べて居る、麥屋に居た幾代華魁が餅を商ふと云ふ處から大層諸方から評判で傳へ聞いては買に來る ○『見附前の幾代の餅を買て來てくれ』『宜しい』と土産物に買つて來る幾代の家の餡ころは大層な評判却々美いと云ふので幾代餅〳〵と云つて暖簾に相成りまして後には大層な身上にしてしまひ、是淺草見附前の幾代餅の元祖でございます、七越華魁も其の跡のお職を張つて居る位だから前の幾代の話しも聞いて居りまするによつて、粋だとか好、男だとか云ふ者には構はない、何處までも甚五郎の腕前へに惚込んで何うか身の納りをつけたいといふので、慾徳でなく七越華魁が遣つて來たといふ樣な譯、乃で甚五郎より政右衛門へ此の話しをしたから喜んで承知をして、女房のおつると媒酌人役を勤めて七越と甚五郎と夫婦に芽出度相成る樣なことに定まりました、茲に甚五郎が洵に氣の毒だと云つて他人の爲に盡したといふ甚五郎義侠のお話しがございますが、それは次席に申上げます。



外科 一般皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一一九番

牛乳 御用
京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

京城明治町二ノ三二(元實業倶樂部跡)
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

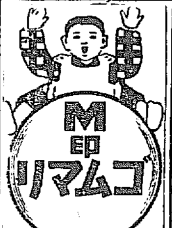
十月廿一日 九星 舊九月六日 丙申 本命一白 北 開 友引

▲一白● 福元を見らるゝ事有日新事見合西方は吉 旅行北▲二黑● 想ひ遣を生ぜんとす新事手控へ無事は吉買物に用心せらるべし▲三碧● 大利の日轉居入學求緣金件家作婚姻開運等萬吉▲四綠● めでたき日轉居旅行出過名出求職棟上婚姻金融榮達等萬吉▲五黄● 役にたゝぬ斷念き日新事手控新事は吉新取引は用心の事▲六白● 按排よき日轉居入旅行名求職建築移轉開業等萬吉▲七赤● 思はす慈を施て大いに德を得る日萬進て吉女子は一層よき家有▲八白● 不讒の事有日新事手控舊事は吉女子は行爲を守らるべし▲九紫● 油斷成難き日新事手控舊事は吉衛生に注意せらるべし

りん病 消渇を自宅で秘密になをす
家傳秘法の妙藥あり同病で困る方に只一劑を試よ切三錢送れ人助けに其妙藥と自宅療法を詳報す
名古屋市南かじや町 武藤龜吉

印刷 インキ製造
京城明治町二の二 電話三一一六 振替京城一三三五
櫻井商店

目ニ見ヘテ ズンぐトキク シュマズイタマヌ
井上博士 ロート目藥
眼病を、不潔い布や指頭で療るのは目の爲に惡いからロート目藥には消毒した布と下圖の樣な新案の點眼器を添えてある
●全國各藥店にあり
定價 徳用大瓶五拾錢、中瓶卅錢、小瓶廿錢
本舗…東京…大阪…山田安民藥房



M印 ゴムマリ
大阪唐物町四飯田商店

京城明治町一丁目 電話二四二番
贊化病院
内科 小兒科 入院隨意
醫學博士 古城憲治
無料施療す 毎日五名を限り
岡山醫學士 上野亮藏

本年 丸髷新形賣出
登録商標 なかお形
大阪東區久寶寺町八丁目 發賣元 中川武之助
全國到る所の小間物店にあり

ライオン歯磨

六歳から十四歳までの間に乳歯と永久歯とが生換ります。

併しながら乳歯が齲歯に罹つてなりますと、其根は何時までも歯齦の中に残つてゐて、永久歯の發生を妨げるものであります。随つて反歯や亂杭歯などが出來るのでありまして、乳歯の衛生は實に根本的の歯牙衛生を爲すものであります。換言すれば立派な歯は立派な乳歯の跡に生えるものであります。

故にお母様方はお子様の歯が生え始まると同時に品質純良でお子様のお好きになる

ライオン水歯磨を水に釋いて

ガーゼに浸したもので歯を洗つておあげなさるは勿論、お子様が幼稚園へお通ひなさる時分から、お一人でライオン歯磨をお使ひなさるやうに、其習慣をおつけなさることをお母様方の義務と存じます。

ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 東京本所區外手町 小林富次郎 支店

本品は最新發明に係る理想的調革にして爾來各御工場に於て其眞價を發揮しつゝ有之候
▲說明書御一報次第送呈可仕候
大阪市南區難波久保吉町
合資會社 新田帶革製造所
出張店 東京 名古屋 福岡

汽車發着

線	驛	時刻
京釜線(南行)	南大門 龍山 永登浦 水原 成歡 鳥致院 大田	[illegible]
同(北行)	釜山 草梁 三浪津 大邱 秋風嶺 永同 大田	[illegible]
關釜連絡 湖南線(南行)	大田 釜山發 下ノ關著	[illegible]
同(北行)	下ノ關發 釜山著	[illegible]
京義線(北行)	南大門 山 開城 金郊 新幕 平壤 新義州	[illegible]
同(南行)	[illegible]	[illegible]
平南線 兼二浦線	平壤 鎭南浦 黄州 兼二浦	[illegible]
京仁線(仁川行)	南大門 龍山 永登浦 素砂 朝鮮 仁川	[illegible]
京元線(北行)	南大門 龍山 議政府 鐵原 福溪 洗浦 元山	[illegible]
同(南行)	元山 高山 三防 洗浦 福溪 鐵原	[illegible]

京城日報　第三版
二十日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

獨逸の石炭研究（二）

醫學博士 佐藤恒丸氏談

今日まで石炭の成分を研究するがために三ツの方法を撰んだが第一は極めて強い藥品（硝酸、過滿俺酸）で石炭を熔かす方法で此方法は成功しなかつた第二の方法は石炭を密閉した器中（レトルト）に藏して一千度以上の

△高熱を加へ たのであるがこれは瓦斯や『コークス』を作るに用ゐる方法で此際種々の瓦斯を發生し其一部は更に凝結して『テール』と『アンモニア』水とになるのである此方法は第一餘りに手粗い爲に元來石炭の中に含まれてある成分を推定するには頗る不適當で又石炭の大部分は『コークス』になつて殘る爲に更に研究の手が著けられないそこで熱度を著しく減ずる爲に瑞西ピクテー氏が眞空裝置で蒸溜を試みた然るに同じく『コークス』と瓦斯と水と『テール』とを得たが此『テール』は普通の蒸溜法に依て出來た『テール』（濃色粘液）と異つて半透明で

△綠色の螢光 を放ち石油の臭氣があるそこで石炭と石油との關係が始めて學問上に明になつた石炭から石油を製することの希望が輝いた。からなれば今まで石油から作つた『ベンチン』も機械油も其中直接に石炭から製し得るであらう、フランツ、フイツシエル博士は高度に熱した水蒸汽の流れの中で石炭を蒸溜してピクテーに似た『テール』を得たが此方法で得た蒸溜産物は深い分解を抑制する爲に普通の蒸溜法よりも獲物が多い一例を擧げれば此の法で得た『アンモニア』の量は普通の三倍であるフイツシエルは右の『テール』から

△二種の石油 機械油及び『パラフイン』を分離したフイツシエルは一九一四年にルール河畔ミユールハイルに建設されたカイゼル、ヰルヘルム研究所の長で其の成立の日の未だ淺いのと大戰爭とに拘はらず既に石炭に就て幾多の有益な研究を遂げたのである扨フイツシエルが開いた石炭研究の第三[illegible]に溶劑を驅逐して取出した物質を研究して行くのである、第一に用ゐられた溶解液は『ベンツオール』を高熱と高壓を加へて本品の抽出を再三反復すれば在來の方法を得た量の六十倍の獲物がある扨此『ベンツオール』抽出物を煮詰めた跡には暗黑色で[illegible]の臭を帶びた液體のであるがこれから更に一の固形體と濃厚帶紅色の機械油とを分けることが出來る褐炭を同じ方法で抽出すれば在來の方法よりも二倍の蠟を得るばかりでなく跡に樹脂のやうな物質が殘る又『ベンツオール』抽出後の石炭は外觀上著しい變化を示さないが光澤と固さを著しく減じて之を燒けば無煙である

航空界と歐洲戰（二）

帝國飛行協會長 長岡外史中將講演

然るに闘ける政府及び國民と勤勉なるそれとの間には驚く可き差の出來たのである。之は大正三年の現在であるが、足掛け四年の後に獨逸に於ては民間に飛い大學が二箇所、飛行練習所十箇所（速成飛行學校）飛行機專門の講座を有す。高等學校以上の學校が十箇所、飛行機專門製作所同じく十箇所、飛行場廿二箇所、著陸場四十三箇所、飛行倶樂部若くは飛行協會四十六所、伯林には三つの飛行會がある、皇帝、皇后並に皇太子が各其の會長になつて居る。一時は何れかの飛行會員たる徽章を著けて居らぬ者は愛國者に非らず、何處へ行つても肩身が狹いと云ふ迄の盛況を呈した。右のものは日本には殆んど無い。驚く可き差ではない乎。獨逸の航空豫算は三千五百萬圓であるが、日本は大正二年の引續いての政變、數次の陸軍大臣の更迭に依り其の前から段々減らされて居たのが此の年に於ては六十萬圓が三十萬圓に減額された三十萬圓と三千五百萬圓大分違ふ。獨逸に於ては此の年の飛行機數が千二百五十臺、日本は三十臺と申したいが三臺許り毀はされて居つたから二十七臺、之も大變な相違である。懶けると勉強するとの間には一寸の間に斯かる差が生じた。併ら之は戰爭前の話である。戰後の只今に於ては戰用の一番大きい飛行機は二千五百馬力である日本で最大なるものと雖も七十五馬力乃至百馬力に過ぎない。馬力に於ても頗る相違がある。乘組員は十二人、大砲四門、佛蘭西の方は三十七ミリメートル口徑の機關銃一挺、速力は一時間凡そ百哩、日本では二人乘りで六十哩が最大限であつたが、昨年行つた東京、福岡間の飛行は三區に分つて居る。其の時の平均一時間の速力が三十五哩であつた。今のは大の分の飛行機である、中の分になると大砲二門、機關銃二挺、乘組員は少し夥くない。小に在りては乘組員二人、機關銃二挺、之は速力頗る早く一時間に百三十餘哩を飛行する、各々の飛行機の要所〱には鋼鐵網が張詰めてあるが、悉く無線電信を設備して居る。飛行船になると非常に外形が大になり、戰前二萬二千立方メートル尺の瓦斯の袋であつたものが、今や五萬五千立方メートルになつて居る。硬式と稱するものは全部アルミニユーム張りで半硬式は龜の甲羅の如く上は金張りで下は布になつて居り、軟式は全部布張りである。而して之は驚く可き殺傷力を有して居るが右は飛行機飛行船の力である。次に其の數如何と云ふに、聯合軍側には凡そ一萬五千臺の飛行機があり、佛蘭西の第一線に於ては百二十餘の飛行中隊があるが、各隊十二三臺の飛行機を有つて居る、猶其の他に輕流氣球隊が七十二、猶其の外追擊團或は攻擊團と云ふ樣な色々な名稱のものがあつて、「遊擊」隊が澤山有り、其の數凡そ一萬と稱せらる。英吉利、伊太利、露西亞を合して其の數一萬五六千臺に達するが、之に對し獨逸側は凡そ七千臺と推算される。故に二萬二三千臺のものが始終空中戰を行つて居る譯である。

以上で大體飛行機の力と數とが判つたが、飛行機は一體何を爲るものであるかと云ふに、第一は通信である。御婦人も少しお出あるから、婦人に例を取ると、戰爭勃發當時獨逸を挾擊にする爲に、色々申合せをしなければならぬ。そこで佛蘭西から露西亞に通信する必要が起つたが、英吉利を廻るは遠い。バルカンは倚更である。是に於て飛行機をやらうぢやないかと云ふ事になつた。以前から巴里でドラロツシーと云ふ婦人が、女子の飛行學校を造つて居つた。二回目の卒業者を出だし、今は三回目の修業中、其の學校に行つて、誰か露西亞に行つて與れる者が無いかと相談したら宜しうございます、妾が參りませうと言ふて出たのが花をもあざむく十九のお孃さん、貴孃が行つて下さるか、貴孃ならば、萬一途中で降りてもまさか獨逸人は引摑きもしないだらう、何分宜しくお願ひする。承知致しました。佛蘭西の北の都ナンシーを出發し、全獨逸を横ぎり、ワルソーに居る露西亞の司令官に手紙を渡し、其の日は休んで翌日返事を貰つて佛蘭西に歸來つたと云ふ事實がある。悲しい哉我が日本には未だ斯かる技倆を有つた者は無い。彼の東京大阪間の横斷飛行の如き第一日は沼津止り、第二日が靜岡止り、第三日が名古屋止り、第四日目には少し機械に故障を生じて大津止りの、第五日目が京都深草止り、第六日目に大阪に到著したと云ふ樣な次第である。

誰（99）

布施生譯

今に一件を不穩靠樣、いや事によると警察に告訴るかも知れないぜ『だつてそりや己やあの女に思を懸けたんだから仕方がないさ』『そりや先刻も聞いたがね、それだと言つて、わ、殘念だなあ、お前は一體虛言の吐き方が下手だよお前は初に兄貴は死んだ事にして仕舞つたね、だから今更兄貴が歸つて來て何とも始末がつかない事になつたぢやないか、お蔭で己も父樣と云つて頸玉に嚙付く事も出來ない始末よ、伯父樣兎角お前は腕が無いせ』容赦なく咎められて利介は自暴腹を立てた「喧しいやい、馬鹿にしやがつて、それや己だつてもな時々は失敗もするあしかし直に又工風して巧く遣り直すんだ」頼太郎は猶滿足せず「どう云ふ工合に」「そりや細工は流々さ」二人は顏を見合せたが二人の心中には同時に恐しい[illegible]だ、二人は暫く默つた後利介は少し言を改めて「さうだ頼太郎、己の今言つた金は取らないんか」「いやもう此樣なつたら何處までもお前に附著いてゐる方が得らしい、今更手を切る事はお斷はりだよ」「代りにお前の言ふ事は何でも聞く[illegible]」「よし誓るよ[illegible]」二人は[illegible]解をして其後の仕事を相談した、そして結局頼太郎は內部にあつて[illegible]役になる事、利介は外部から[illegible]部夫人の味方のやうな顏をして段々夫人と孃との歡心を得てゆく事に手筈をきめた、[illegible]二人は[illegible]管合ひながら表面は[illegible]うに手を握つて別れた。[illegible]に限[illegible]かれた、[illegible]も居ても居られない[illegible]敬は事ともせず[illegible]は一度西洋でも[illegible]た經驗がある、[illegible]殺入すれば、[illegible]よそう言つて手[illegible]て仕舞つた[illegible]良くはならなかつた、[illegible]し痛つた代りに頭が破れるやうに痛出して脈搏激しく、いやに[illegible]がほてつて咽喉は今にも呼吸が塞るかと思ふ程に苦しく、[illegible]が硬ばつて物を[illegible]容易でない、さうこうする內に今度は頸骨が硬直して口の開閉も六かしくなつた、利介は心配して早速醫者を喚ぶ事を勸めたが數徳は肯かずに「駄目だよ己は醫者は嫌だ、大丈夫己は之で治るよ」

送蘇峰學人遊支那

青松　關　博直

秋氣蒲潮涵大涯、賓雁鳴不待新麗、熟此公施長征、已說劉之頭、又論麗之蹤、彼我勢已變、成事竟未獻、江漢萬古水、滔々揚濁波、小策發擊讀、近來道楲多、幸有其人在、憂國心常切、家言律事務、筆端吐心血、前途游君見、許々已有什、一齡規千古、萬言人讀溥、社老與彌翁、並出品其美、且眼看知之、長短自可擬、與道君之行、要探禹城州、雲袖裏襟、文物掌中收、吳也忘恨、關山望浩々、胡亦歸、標懷風光好、扁舟赤壁秋、蘇子賦可思、奈其初粧宏、迎君解笑眉、遙望西苑路、更邪有苗拠、嘉言啓群蒙、却忘歲月迫、東移無睽、中際委荏蘼、東方君子國、柄乎存皇謨、德化方將安、稜威群凶慄、縱横東邦謨、荷君條大筆、其氣若健、其詞縱横、使蘇峰學人重於鼎呂、佩服々々、

大阪の成行

[illegible]一節八十三錢三節八十九錢四節七十六錢さ五落入電に賣物漸く多く八十五錢より四錢さにりたるも買物多く八錢と跳ねたるも忽ち三錢と押し四錢と支へて大阪戰神に下落りの成行を示して散會

▲大阪の成行 暴落後の反動として今前場二十[illegible]けたるを幸に今の買液らへに來たるか[illegible]も今後の變動如何あるべき

▲[illegible]多く爲に依然安人氣を唱へ居れり ▲京城近新穀八圓八、九十錢より上物九圓三四十錢にて商談せられ居れり商況は出廻り益增加せん振り合にて正米の未だ高値にあるの

十九日の十二月限

平一節	十八圓九十三錢
均二節	十八圓八十四錢
値三節	十八圓九十二錢
段四節	十八圓八十三錢

大邱客月貿易

輸移出入增と其の原因

[illegible]比すれば輸移出に於て三萬二千九百九十六圓輸移入に於て十五萬八千七百二十八圓の增加を示し居れりしと雖も砂糖、麥酒、打綿、軌條、枕木、小荷物等の入荷の增加したるに基けるものなり

[illegible]同組合員總數一萬三千八百五十九人に對する貸付金三十七萬千二百十圓四十二錢預ケ金十一萬一千[illegible]金一萬千六百七十五圓九十八錢に達し居り結局一萬二千二百六十圓餘の純貸金を算し居れり

本紙定價 △一ヶ月金一圓五十錢 △一ヶ月金一圓五錢(?) 郵稅 [illegible]
廣告料金 △五號活字十五字詰一行 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直(?)、印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇〇番

◎六十六回勸業債券 壹等 六千圓 四千圓 當籤の樂み有(留置料要す) 十月賦賣(据込) 債券御報別通 特別勉強値段 買收御申越次第回報 大阪市西區 建部債券部 電話土佐堀一六三九番 振替大阪二八〇八番

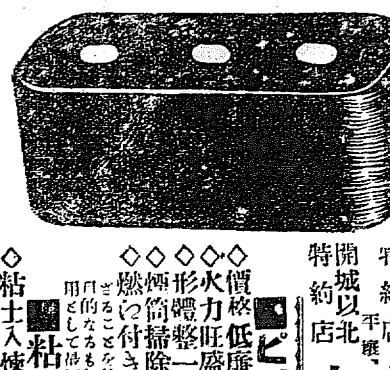
工學士 片山平三郎著 探鑛必攜 附測量 插圖六十餘 正價壹圓卅錢
工學博士 近藤陸三郎序 工學士 片山平三郎著 採鑛摘要 插圖六十餘 正價壹圓廿錢
工學博士 近藤陸三郎校閲 舟橋了助 伊藤芳三郎編 青化製錬法 正價壹圓四十錢
工學士 若山吉弘校閲 植田治講述 實地經營 採鑛法 插圖七十餘 正價壹圓廿錢
伊藤壽郎著 實地應用 測量法 正價九拾五錢
東京神田 誠之堂書店 振替東京四七七二番

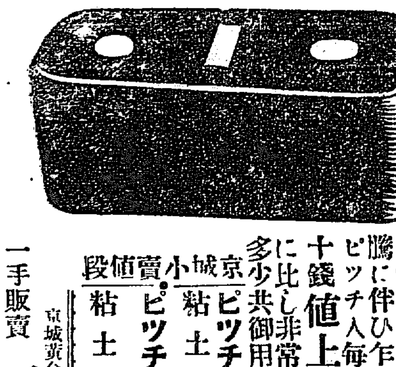
寺田精一先生監修 トモダチ 美しい繪と面白いお噺滿載 附錄キク人形 東京麹町 二葉社

婦人世界 秋季增刊 婦人幸福號
美人は幸福か不幸か 辻文學博士
婦人の幸福は家庭にあり
子供の幸福はかく計れ
婦人の幸福
女學生も煩悶
庭滿家庭 夫婦和合の實例
現代十名士及名流婦人の適評 幸福なる婦人
我家のたのしみ 名流夫人
三大傑作 家庭小說 小松島 村井弦齋 ／ 歷史小說 黑百合 渡邊霞亭 ／ 名作物語 海の夫人 下田歌子
幸福なる生活
家庭不和の原因
夫婦和合の秘訣
冷たい家庭 泣く主婦の煩悶
子供相手の樂しい簡易生活
成金は家庭の幸福か不幸か
東京日本橋 實業之日本社 振替三二六

花火は鍵屋 京城三坂通四十七番地 富田煙火製造所 電話二八七二番

炭界革命の金鈴





經濟的唯一の燃料 平壤無煙煉炭
炭界空前の暴騰各炭殆んど倍格以上に奔騰せるも平壤煉炭のみは發賣當時より一定不變の價格を保ち居り候處今回諸經費の高騰に伴ひ乍不本意左の通貨車渡ピッチ入每噸二圓粘土入一圓二十錢値上斷行せしも各燃料に比し非常に經濟的に候間此際多少共御用命願上候
京城小賣値段 ピッチ入（三ツ穴千二百個入）拾四圓 粘土入（三ツ穴千百個入）拾壹圓廿錢 ピッチ入 五十個入 金六拾五錢 一個壹錢參厘 粘土入 四十五個入 金五拾貳錢 一個壹錢壹厘五毛
一手販賣 京城黃金町（電二六・七二四・一一九）三井物產株式會社
開城以南特約店 京城古市町一四（電九四一・三一〇八）米地商店（平壤、鎭南浦）
開城以北特約店 中村組
ピッチ入煉炭 ◇價格低廉 火付容易なること ◇火力旺盛 耐温力長きこと ◇形體整一 取扱貯藏に便利なること ◇煙筒掃除の手數を省略すること ◇燃え付きたる上は堅く塊まつて崩れざることを特長とし主としてストーブ用の目的なるも無煙無臭なるが故に厨房用温突用として便利なり
粘土入 ◇粘土入煉炭は從來の粘土入にして研究の結果今や更に改良を加へたり主として温突用の目的なるも炊事用として亦便利也
最德用唯一の燃料 平壤無煙煉炭

孤峰學人新著 心學 人の道 陸軍大將子爵 神尾光臣閣下 ◇ 貴族院議員 杉田定一閣下 題字
▲特價▼ 金壹圓拾錢（送料不要）
○總クロース美裝幀 ○菊半截八百五十頁 ○定價金壹圓參拾錢 ○送料金拾貳錢
東京神田今川小路二丁目 忠誠堂 電話本局四九六六番 振替東京二〇四三二番

山田愛劍著 格言訓話 日々の修養
初版再版即日賣切 三版四版忽ち盡きて茲に第五版を發行す
陸軍大將男爵 福島安正閣下 ◇ 陸軍中將 山田隆一閣下 題字
□比喩譚あり例話あり、時に落語的笑話あり、讀者をして抱腹絶倒の間に道德の旨を會得せしめたる古へ能く現代語に譯せられ新作出でたり。世と共に萬人必讀の修養書、讀まんばある可らず。
■特價提供 金九拾六錢（送料不要）
四十一版 例話數百篇面白くて爲めになる書物いへば方今獨り此書を推す！
▽總クロース美裝幀 ▽菊半截八百九十頁 ▽定價金壹圓貳拾錢 ▽送料金拾貳錢

●エ島上陸軍前進

タノグラサト（エーゼル島西北角）に上陸せる獨軍は露軍の抵抗を排して東南方に前進中なりエーゼル島のアレーンスブルグ市は目下燃燒中なるが同島に上陸せし獨軍は多くも二個師團なるべし（露都電報）

●露國戰鬪艦擊沈

リガ灣の海戰にて露國戰鬪艦スラブア號（一萬三千五百噸）擊沈されたり（倫敦電報）

●陝西軍擊攘せる

目下四川省內に在る護南軍の總數は約三個師團なるが其の一部は去る十六日內江縣にて北方陝西軍と衝突、遂に之を擊攘したる結果重慶よりの電報は不通となれる旨某所に情報ありたり（北京特電）

●北軍衡州出兵難

北軍は各商船の船艇を徵發し松江の水路を以て衡州に出兵せんとしつゝあれども衡州附近の江岸には南軍砲列を敷き居れるを以て輸送不可能ならん十六日北軍の先鋒第十五旅の一部陸地を過ぎんとして南軍の狙擊に會ひ退却せり北軍は十七日第三十九旅と合し衡州へ強行々軍すべし（長沙特電）

●王世子御參內 二十日御誕辰當日

李王世子垠殿下は廿日を以て滿廿歲に達せらるゝに付同日午前近衞步兵第二聯隊より鳥居坂御用邸に御歸還午後一時卅分公式馬車にて御參內兩陛下に謁見の上御成年の御挨拶あり午後六時より御用邸にて目下上京中の國分李王職次官以下近侍數名を召され內祝の宴を開かるべし（東京特電）

●小學教員俸給支辨確定

臨時教育調査委員會議は小學校教員俸給を國庫と市町村との共同支辨とする事に最後の會合に於て可決確定せり（東京電報）

北白川宮御渡臺 臺灣神社御參拜の爲め

父宮殿下を奉祀されたる臺灣神社に御參拜あらせらるゝ北白川宮成久王同妃房子內親王兩殿下には下村臺灣總督府民政長官其他を從へられ郵船信濃丸にて十八日早朝神戶より門司御著港內を御一巡の後午後四時解纜渡臺の途に就かれたり（門司特電）

●故岡氏の葬儀 廿三日增上寺にて執行

十八日午後五時東京府下大井町の自邸にて逝去したる京城電氣會社取締役岡正矣氏の葬儀は二十三日芝增上寺にて盛大に營まるゝ筈（東京特電）

●軍司令官出發

北鮮巡視中の松川軍司令官は十九日清津發歸路歸任の途に就けり（清津特電）

●釜山府ご拜賀式

釜山 府廳に於ける十月三十一日の天長節拜賀式 [illegible] ての準備を爲すこと、決定したり（釜山）

●安東● ▲綠路商團 [illegible]

[illegible] 九一郎氏外兩三名にて發企せし鴨綠江造船株式會社は始め奉天方面なる製土有志者のみにて株式會社 [illegible] 日滯在の上各方面との交涉を纒め創立事務所を元寶館に設置し十六 [illegible]

●大邱● ▲敎育試驗施行 小學校及び普通學校敎員試驗は總 [illegible] ▲同訓導松山翠氏の四名なりと▲大邱秋季淸潔法 大邱警察署は來 [illegible] 月九日より十三日までの三日間 [illegible] にて其の指定買受所大邱繰綿工場 [illegible] 四十幾番の遊戲運動あり最後には一般選手の五哩のマラソン競走等ありて盛會なりき▲鮮銀員來邱 [illegible]

●安州農學校修學旅行 安州公立農業學校第二學年生徒三十名は職員二名引率の下に十月二十日より [illegible]

●服に崇らる 京城黃金町三丁目金桂客（?）は十八日夜の京 [illegible]

●支那鐵道水害

過般水害を蒙れる京漢、津浦兩線の狀況は左の如くなるが臨時復舊工事完成迄滿鐵線各驛より右兩線行及び兩線經由聯絡乘車券の發賣は停止されたりと

▲京漢線 北京漢口間には直通旅客の爲め接續列車を運轉す但し左記三箇所に於て乘換を要す（渡船又は徒步連絡但し渡船賃、手荷物積換等總て旅客の負擔とす）

▲新樂縣（北京より二百二十七基米突正定府の北附驛）▲搬莊（北京より二百七十一基米突、永北の北附驛）▲臨洺關（北京より四百二十三基米突順德府の南方三附驛）▲右列車運轉時刻▲南行北京發午前〇時三十分漢口着翌々日午後二時二十五分▲北行漢口發午前一時三十分北京着翌々日午前二時十分

▲津浦線 天津良王莊間渡船（良王莊は天津東站より二十四哩十二鎖の地點に在り、渡船賃、手荷物積換費總て旅客の負擔とす）▲德州黃河涯間不通（德州は天津東站より百四十八哩、十二鎖、黃河涯は德州の南方にして同百五十五哩六十鎖の地點に在り）

●大隈氏一行著連

大隈信常氏一行六名十八日夜著連ヤマトホテルに投宿せり一行は十九日滿鐵會社其他を訪問し二十日旅順に向ふ筈なり（大連特電）

●十月京城商況

十月上半期に於ける商況に就き [illegible] 開くに [illegible] ▲內地 [illegible] しも依然 [illegible] 內に鮮內各 [illegible] 大體に於て內 [illegible] 依り軟弱を免れざ [illegible] 場に於ける正米筋買煽の爲め [illegible] に於ては內地に不出合の高値を持續せり

▲大豆 は滿洲にて一部買占めの結果に依る暴騰と內地在荷の減少とは相俟って比較的格安なりし朝鮮物の昂騰を促したりしも時恰も端境期品薄の折柄とて多量の輸移出を見るに至らざりき而して一時沈靜裡に經過せし

▲牛皮 は露國軍用長靴大口注文の爲め漸次活況を呈するに至りしも前月末出盛期に在りし夏繭は當月に入り一段落を告ぐるに至れり次に

▲輸移入品 に就て見るに支那に於る原綿の拂底と內地投機筋の買煽りの結果大暴騰を現出せし▲綿絲布 は月の中頃迄は引續き仲間取引旺盛なりしが其の後大阪市場にて反動的暴落あり之が影響を受け且つ夏季需用不振期との結果當地商況も頓に不振に陷り弗々投物を出すに至れり而して月末物價調節令の發布と共に第二回の暴落あり當業者は孰れも大小の損失を蒙りたるもの〻如く鮮商中には二三破綻者を出さむとするが如し▲其の他の商品 は一般に商氣配を示し賣行捗々しからず商況稍沈靜の狀を呈して越月せり、今稅關出張所の取扱に係る當月中當地貿易額を見るに輸移出品價十三萬八千六百八十一圓輸移入品價百六十四萬五千百六十八圓にして之を前月に比すれば輸移出六萬九千餘圓輸移入二十六萬五千餘圓の各增進を來し前年同期に對比すれば輸移出に於て三千九百餘圓を減少し輸移入に於ては三十萬五千餘圓の增加を示せりと

●青島鮮銀開店 鮮銀券流通區域の擴大

朝鮮銀行の青島支店は開店諸準備終了し二十日より營業を初むる事となりしが大連駐在理事大田三郎氏は二十一日大連發青島に向ひ其の開業の披露を行ふべし

▲開店理由 青島支店の開設理由を聞くに青島は滿洲各地と密接の關係あり又朝鮮並に內地の阪神とは同地に於ける吾が勢力の發展に伴ない益々貿易上の緊密を加ふるを以て朝鮮銀行が現今の如く鮮滿方面に盛んに活動し更に內地の主要地に其の機關を有する今日青島に一分店を有する事は極めて必要にて尙其他の關係より同開店の運びとなりしもの〻如く鮮銀にては開店と同時に其の銀行券の青島市場放出をなすべく多額の準備を整のへしとの事に付鮮銀券の流通範圍は更に新たなる擴大を見たる譯なり

觀瀾亭雜爼　蘇峰生

○如何なる事物にも、兩面なきはなし。大戰爭の影響は、列國をして、何れも食物に就き、多大の不安と、缺乏とを、感せしめつゝあり。されど此が爲めに英國の如きは、多年荒廢したる農業を、漸く恢復せしむ可き機運に、向はしめたり。英國の農政は、久しき間、經世家の閑 [illegible] 也。然るに今や一朝に [illegible] 率先して、之を實行し、[illegible] 相呼應して、之に趨き、[illegible] 市街中にさへ、馬鈴薯、玉 [illegible] 耕作を試みるに至る。是れ戰爭の寄與する、一種の恩 [illegible] ならずや。

○英國にては、從來の耕地を、牧場若しくは獵場となし、其の獵場たるや、唯だ其の所領者の遊獵の便に供せん爲めに放擲しつゝありし也。而して其耕地さへも、之を獨逸の耕地に比較すれば、著しく其の收穫に於て、劣る所ありし也。例せば均しく百エーカの耕地よりして、英國は四十五人乃至五十人を養ひ、獨逸は七十人乃至七十五人を養ふ。英國の農夫は、十五噸の穀物を產し、獨逸の農夫は、三十三噸の穀物を產すると云ふにあらずや。

○今日に於て英國が、農政を振作し來りたるは、唯だ覿面の實物教育によるのみ。若し春秋の筆法を以てせば、英國農業の衰運、輓回するの殊勳者は、獨逸皇帝なりと云ふを得可し。世の中の事は實に意外の事多し。諺に曰く、因緣は廻る小車の輪の如しと、宜なる哉言や。

●大規模の朝鮮製紙 資本金一千萬圓＝新義州に工場設置

日本製紙業界の先進大川平三郎、田中榮八郎の諸氏を初め其他十餘名の有力者に依りて發起せられたる朝鮮製紙株式會社は資本金一千萬圓を以て

▲新義州に本社 を設置し無限の製紙原料を有する鴨綠江の杉松に依りパルプ工業を創設し製紙事業を起すの目的を以て去る六月十五日附を以て總督府へ設立許可の申請をなせるが不日認許の指令に接すべし之が內容の一部に就き聞く處に依れば同社は第一期事業として二ケ年の計畫により新義州に化學紙料工場を建設し年產額二萬噸の製造能力を有する設備を爲し第二期計畫として鴨綠江遡行七十里の地點にある釜沿に第二工場を設置し慈城江の水力を利用して以て電力を起し『グラウンドパルプ』の製造を爲すべく之を第二設工場に廻送して製紙事業を爲し更らに第三期に於て

▲三萬噸の製紙 能力を有する工場を設け僅に十萬噸の製出を爲すべく計畫せり而して之等の製品は專ら支那南洋濠洲印度方面へ輸出し併せて將來洋紙の內地輸入を驅退せんとするもの〻如し而して之が製紙原料たる杉松の蓄積は營林廠の調査に見るも輪伐者に百二十年を繼續し得べく此以外に更らに伐木し得ざる原料は毎年優に二百餘萬尺締に達する見込みなるを以て其の原料は無限なりと云ひ得べし尙ほ現在營林廠は三井系統の製紙會社へ對し十四萬尺締の拂下げを契約し目下同廠の施業區編成區域內に於ては年伐二十三萬尺締を計上しあるを以て殘餘僅に九萬尺を有する譯なるも同社開設の曉は到底此の殘餘の拂下げを受くるも原料不足を免かれざるを以て會社に於ては對岸

▲滿洲の杉松 を買收し之に依り其不足を補充すべく發起者其他の有力者間に於て目下協議中に在り因に同社は大川氏の經營せる樺太製紙工場擴張の豫定にて購入せる機械類は既に全部到著しあるを以て之を利用し設立許可の指令を待つて直ちに事業に著手すべく既に諸般の準備を了し居れりと

●出入重要品價

十月上半期輸移出入重要品價は本紙夕刊所報の通りなるが其の內同期迄の累計に係る出入重要品價を示せば左の如し

▲輸移出重要品（圓）

名	十月上半	一月以降累計
米	六七二、四二七	一八、五五五、九九八
大豆	五〇五、七〇八	六、九一九、六一七
小麥	一五六、一四	一、六六七、〇三一
大麥	一八二、三四二	一、九一五、三三九
綿花	……	三、〇七八、四〇七
鹼	一五〇、六四九	三、五〇三、〇〇八
金銀及砂金鑛	一一、九五三	七一一、六〇三
鐵鑛	三〇、二九五	三〇一、八三三
重石	五一、三二五	一、六八〇、三五五
黑鉛	一五三、八一七	一、一〇八、四八三
含金銀粗銅	一二〇、一八九	四、一六九、四五四
牛皮	一三〇、二八一	一、四五七、七七九
皮革製品	一〇三、七八	七七二、〇四九
煙草	五一、〇三五	七二八、〇一一
生牛	七〇、九五	七三五、四二〇
肥料	四七〇、五三	一、一七〇、四三八

▲輸移入重要品（圓）

名	十月上半	一月以降累計
米	一九、四〇七	八四四、七三〇
粟	一〇、〇五二	一、一四七、七二八
小麥粉	三五、二二七	八一七、一二七
鹽	七七、一四五	八〇六、一六九
乾魚	三、一〇三	一六三、八三七
砂糖	一〇六、三五三	一、八二九、四九二
清酒	五五、〇七三	四九九、二三七
麥酒類	六、三四五	四六五、五七八
石油	二〇一、〇八七	三、一七二、八八〇
機械類	三六、〇〇二	四五一、四一二
綿織糸	九九、一九八	二、九九六、三二七
生金巾類	五一八、七五八	五、三九八、三一四
晒金巾類	一二五、七五四	二、五七一、八三九
天竺布	五〇、〇五七	五三八、三〇九
綿繻子類	四七五	三七七、〇八三
日本木綿	二〇、五二一	二、九一九、五七八
支那麻布	二、五九二	三、二〇八、四一七
毛織物	三三、三〇六	五一七、九九〇
絹織物	二二、六三〇	七三七、三四三
紙	六一、七七六	一、八一六、六一三
鐵	一五三、八二九	一、三九一、六六一
鐵（管及鋼）	一三、六三一	三〇七、〇九三
鐵條及同附屬品	三八、一二八	一、〇〇八、七二七
鐵道機關車	七、一五二	二四〇、七八六
煙草	一二、〇三一	四七五、八四〇
生皮及熟皮	一六、〇〇八	五八〇、九一三
石炭	二〇九、〇八六	二、三九九、三二五
木材及板	一三六、九七九	一、三六四、一九〇
セメント	一三、三二〇	一、三六三、一一七
叺及莚	六八、八三三	七六〇、一一三
燐寸	五三、三一九	六〇一、九一五

●市場數と稅金

總督府の調査に依るに大正五年中の市場數は普通市場九百十三にして其の放資額二千二百五十九萬七千五百餘圓を算し、特別市場即ち月稅市場は三十四にして其の放資額四百五十四萬六千三百餘圓なりしが之に對する地方費賦課金稅額は計二十四萬六百八圓なりしと

●屠場と屠畜數

當局の調査に依るに大正五年中に於ける屠場數は一千九百一個にして其の屠畜數は牛二十九萬二千三百六十五頭、豚三十八萬六千九十七頭、羊四十五頭計六十七萬八千五百七頭なりしが之に對する屠場稅は五十六萬八千八百七十九圓なりき

●醸造品評會

二十七日より五日間總督府主催の下に商品陳列館に於て開會せらるべき朝鮮醸造品品評會に對する各道の出品物は目下總督府農商工部に於て取纒中なるが既に咸鏡南道分を除く外全部取纒濟となりしを以て二十二日より之が審査に著手し二十七日開場、當日褒賞授與式を擧行する筈にて未著の咸鏡南道を除き全道の出品點數二百二十五點にして內酒類百二十七點味噌醬油九十八點なりと

●奉獻樹修祓式

釜山府より明治神宮に奉獻すべき植樹は高遠見水源地內に假植し置きしが近日奉納すべきに付十九日同所に於て莊嚴なる修祓式を擧行す（釜山）

●古海總長東上期

古海鐵道局總長は來る十一月の交を以て行はるべき長野縣下に於ける師團對抗演習參觀並に滋賀縣下に於ける陸軍大演習陪觀の爲め來る二十五六日頃東上す可しと

●交替看護卒

釜山 仙臺、宇都宮、名古屋、豐橋の各師團より在鮮看護卒と交替すべき看護卒百二十六名は十八日朝釜山著內六十三名は淸津に向ひ六十三名は龍山及び平壤に向け同日午前十時三十分發列車にて出發せり（釜山）

●鰐の大漁

江原道杆城郡沿岸は是迄漁獲なかりしが十月九日杆城郡梧峴面巨津里沖に鰐群現はれたるより沿岸數箇洞にて漁獲せしに其の水揚高二萬三千貫（四千五百匹）に達したりと

●視察團出發期

豫て其筋に於て詮衡中なりし在鮮教育家の滿洲教育視察團一行三十六名は此程中等學校、高等普通學校普通學校等より人選を了し上田視學官を團長とし三十日仁川出帆芝罘大連を經て各地視察の事となれるが往復約二十日間の豫定なりと

●福永滿鐵職員

滿鐵營業課長福永吉雄氏は國際鐵道連絡及び運輸事務打合せの爲め十八日夜龍山に到著大陽旅館に投宿し十九日午前九時久保局長を其官舍に訪問し諸般の打合せをなし十時半退出したるが氏は尙數日間滯在し京仁各關係者間と諸般の協議をなしたる後歸連すべしと

●上旬鐵道收入

滿鐵朝鮮線十月上旬の營業成績は旅客二十三萬一千六百九十七人此の收入十七萬四千二百八十八圓貨物四萬四千五百三十九噸此の貨金十六萬三千六百七十六圓此の運輸收入合計三十三萬七千九百六十四圓なるが之を前年同期に比較すれば旅客八萬九千八百十六人貨物一萬七百七十九噸增加し運輸收入は九萬八千四百七十八圓を增加す又一日平均收入は三萬三千七百九十六圓六分にして前年同期に對し一日平均三千一圓二十九錢の增收なり

人事

▲杉山茂磯氏（東京ホタイムス社長）十九日夜入京龍尾へ▲ジイゼール氏（獨逸金鑛支配人）青木信助氏（同上社員）十九日夜入京朝鮮ホテルへ▲松村良太郎氏（新義木材會社支配人）十九日夜入京小西火旅館へ

百鬪百種

▲支那の新聞と米國の黃色紙と來たら出鱈目を書く事に於て世界有數の新聞である▲處が支那紙は其の代り皮肉にかけたら頗る妙を得たもので日本の新聞も鳥渡眞似の出來ぬ處があるから面白い▲其の一例に最近の支那時論子が蒙匪討伐を皮肉つた處を譯して御覽に供そう▲前に蒙匪蠢動して警告遙かに傳る▲敵情未だ審かならざるに驚駭異常也▲是に于いて我旗鼓を整へ大張撻伐を馬砲輜各軍紛々として出發す▲若くは先鋒たり若くは司令たり大に威は山岳を震はし氣は長虹を貫く槪あり▲誰か意はむや數千勁旅の出發して僅かに百餘遊擊十餘日僅かに十餘名ならむとは師を班す▲旋への命下つて軍隊凱を奏す▲旋つて歸く軍署此次征蒙の題目を叉って巨款十餘萬元を銷毀せりと報す▲升官發財は丼士の慶する處十餘名の匪徒は眞の大軍の福星也▲をやつた處は皮肉の妙を得たもので即ち蒙匪討伐は儲け仕事だと行つた處が面白いのをいやにひねくつた處が面白い

廣告

購買入札

一、トレーシング五十枚 一、〇〇〇枚 外拾六點

右購買ス詳細ハ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

大正六年十月廿日 朝鮮總督府

第九回新學期開講

漢文講義錄

會長 東京帝國大學教授 從四位 文學博士 服部宇之吉

編輯 林泰輔 博士 岡田正之 等

●漢文學の普及と國民精神の涵養 ●訓詁を明にし名家の講義を添削す ●詩文の作法を親切に指導す ●如何なる初學者にも解し得べし ●毎號大冊にして上質の科目を選擇す

會則無代進呈 見本一冊付き

大日本漢文學會

會員大募集 此際入會者に特典提供す

冬物賣出し

軍隊及鐵道局拂下品

既製品及中古洋服

茶褐外套毛布防寒シャツズボン手袋靴下人夫用古服類澤山あります

△詰衿折衿洋服オーバーコート婦人コート長トンビ大直套小供マント類

○男女御衣裳一式

△特に上等御召の中古御婦人向澤山取揃へてあります

龍山元町三丁目電話百〇五番

衣服商 金子奧市商店 振替京城三八一三

小學教員受驗講義

會長 高楠博士

速成 六ヶ月卒業

今や入學期の好期 新學期開始紀念大特典 小學教員となる身の出世の方法を示し便を與ふ

見本 無代進呈 規則

東京小石川若荷谷町五 帝國教育會 振替東京三八四五六

學資の乏しい者早く就職せんと欲する者は本會は教員の定期及び師範入學試驗に應せんとする者の爲め通信教授する本會は師範學校敎頭先生なり講義親切にして目的を達せしむ

會費低減 其他特典多々 詳細は見本を見よ

三版出來

熱狂的大歡迎初版再版忽賣切

人相千里眼

誰でもすぐ應用出來る人相の秘傳

百發百中

千里眼と云ふは神秘的一種の術である如何なる人にても本書を一讀し人の顏を熟視すると其人の過去の出來事は勿論將來の出來事でもキチンと判る不思議とすべきは東洋觀相學泰斗玄竜子先生が科學的方面より見て凡ゆる斯道の傳書を解剖研究し

死んだ人の父や母の顏

男心女心破る

善人か惡人か

人の命運

EIGIYO HINMOKU

陸海軍拂下品改造被服類

作業用 防寒用 狩獵用

紺絨外套、改造洋服、海軍コート

純毛襦袢、袴下、手袋、靴下、毛皮胴著

茶褐外被、茶足袋、各種堅牢靴

メリヤス雜貨卸商

京城北米倉町 村上商店 電話一一二二番

圍碁初學會會員募集

講師 雁金六段 內垣六段 小林三段 都谷森三段 林二段

全修業料六ヶ月前金一圓八十錢 見本は三十八錢 詳細趣意書はハガキにて申込あれば郵呈す

東京市京橋區岡崎町一丁目十三番地 振替口座東京一〇二〇九七番

圍碁雜誌社內 圍碁初學會

□建具、指物、家具□

諸物價騰貴に就き二割上げ

京城和洋家具工業組合

旅行具專業

岩田鞄店

京城本町二丁目 電話九五四番

陸軍御用酒

發賣元 京城蓬萊町 三巴酒造株式會社 電話長一〇六七番 振替口座六一八番

大田出張所 電話長一三五番

平壤出張所 電話長五一一番

特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

イケダ小兒病內科醫院

池田季雄

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院）一三四 （自宅）八八〇番

（明治三十九年八月二十九日第三種郵便物認可）

[illegible]時より同十時迄の間に於て執行し來りしが本年は正午十二時より龍頭山に於て官民合同の祝賀會を開催することゝなし釜山府に於て總[illegible]

[illegible]名十七日午前來安直ちに檢閲に著手し同夜は元寶部へ一泊十八日は奉天方面に向け出發せり▲鴨綠江造船會社　奉天南滿銀行頭取藤田[illegible]論みつゝありしも事業經營の關係上安東方面有力者の加入の要を認め且つ其の希望もありし由にて協定全く整ひ藤田氏は翌に來安數[illegible]本金五十萬圓にして半額拂込みの上事業の開始をなすべく目的は鴨綠江材を以て專ら木造船建造をなすにありと

[illegible]に於て來月九日より施行さるゝ筈なるが慶尙北道に於ける同臨時試驗委員は道書記樋口亮、同有田鐵藏、公立普通學校長關城寺源次郎

[illegible]法を施行することに決定したり▲慶北陸棉初手合　慶北地方に於ける陸地棉の共同販賣は去る一日より明年二月末日まで行はるゝ筈[illegible]日額は諸雜を加算し平均百圓乃至百五十圓なりと

【開城】▲運動會　開城小學校運動會は去十七日の神嘗祭當日を以て鐵道公園に於て擧行したるが秋天晴れ渡りて恰好の運動會日なりしを以て觀覽者も頗る多く[illegible]半日を娛しみ即日歸京せり開城保勝會よりはエハガキを進呈せり▲少將招宴　先日來當地を中心とし て秋季演習中なる早川旅團長は來る廿一日當地官民有志を第一普通學校內に招待し開宴の筈なり

[illegible]方面へ向け修學旅行を爲すべく其の日程左の如し
▲十月二十日新安州出發▲同二十一日水原見學▲二十二日永登浦仁川見學▲二十三日[illegible]▲二十四日[illegible]城見學▲二十五日歸校

[illegible]軍憲兵伍長の制服帶劍を取り出して著用し八字髯を生やして假裝行列に加はりゐたる爲め風俗取締違反として巡廻中の警官に告發さる

●鑛業界のバチルス（一）
▲惡ブローカーの内幕

猫も杓子も鑛山へ——新に油の成金話——乘るか反るか——繁昌する鑛石買入所——濡れ手で粟を——遂に悲劇の主人公に——油斷のならぬ『鑛山蟻』

□◆朝鮮の鑛業熱 も近來稍や下火になつたが一時は却々大したもの、や重石が何うの水鉛が斯うのと夫れこそ猫も杓子も鑛山でなければ夜が明けぬ始末、目腐れ金で買ひとつた鑛山が旨々と當つて重石成金や水鉛成金も澤山出來たが、この成金話しは恰度、今や燃ね盛る薪に油を注したやうなものでお蔭で鑛業熱は一層の高調を來たし、眞面目な商賣人や月給取りまでが一攫千金を夢みて、のるか反るかを持ち嚮れもせぬ金鎚に

□浮身を窶し たものである、今は以前程でもないが其れでも尚ほ毎月總督府で受理する鑛業出願件數は決して尠くない、諸所の『鑛石買入所』や『鑛石分析所』が繁昌するところを見ると、朝鮮の鑛業界も倘多望といふべしである『水中の小蝦を狙ふ鷲のうしろには獵人の鐵砲がある』——上には上があるもので一方に鑛山で儲けやう〳〵と焦慮るものがあれば、一方には巧みに夫れを利用して濡れ手で粟の掴み取り、什麽もんだといふ脂下る輩が居る、是から俎上に上せやうとする鑛山ブローカーなるものが夫れで、中には

□惡辣な陷穽 にかゝつて迂濶このブローカーの爲に馬鹿を見たのみならず折角の財産を捲き上げられ、今までの榮華も權花一朝の夢と醒めて、尾羽打ち枯した悲劇の主人公も尠くない、尤も一概にブローカーと云つても悉く排斥すべき鼠輩ばかりではないこと勿論、中には本當に鑛山に關する知識と經驗と材料とを有つて居るものもあり、又相當の資産と實際に於て所有權のある鑛山を持つて居る眞面目なものも居る、朝鮮の鑛業を天下に紹介し有力な資本家を牽き付けて今日のやうな隆盛を來さしめたのは、一面これ等の眞面目なブローカーの力であるが、大部分は

□俗に『鑛山蟻』 といふ人の褌で相撲をとる連中である、この『鑛山蟻』が什麽手段で自分の懷中を肥すか、音に聞く唐土の諸葛孔明も跣足といふ所謂神謀鬼謀は次號並下に紹介しやう、眞面目な鑛業家への警鐘ともなれば僥倖である。

□皇后陛下 聾啞學校行啓
五百圓御下賜

皇后宮陛下には十九日小石川東京聾啞學校に行啓あらせられ授業及び生徒成績品等御巡覽の上金五百圓を同校へ御下賜相成りたり（東京特電）

●光瑞師愈々 還俗と決す
來月中旬再び南洋へ

大谷光瑞師は十七日旅順の邸內に於て赤松連城師其他本願寺役僧等と會見せるが光瑞師は飽迄初志を翻さず愈々還俗することに決定せり赤松師より本願寺善後策に就て意見を叩きたるに光瑞師は最早還俗したる上は予は本願寺に關して何等の意見を述ぶべき責任無しされど今後と雖も本願寺の爲めに善意の助言を爲す場合あるやも知れず兎に角善意を以て終始すべしと言明せり足利執行外役僧等は倘師の還俗諫止を思ひ止まらざる模樣なり光瑞師は二十日大連著二十二日西本願寺別院に於て『如來の力用』を題する講演を爲し一兩日滯在の後旅順に還り來る十一月上旬南洋に向け出發の筈（大連特電）

●稅關書記と藝妓の情死
昇汞を呑みて

鎮南浦稅關書記集福平次郎（三一）は十九日同地玉屋抱藝妓千代鶴事坂元もと（二二）と昇汞を服し合意の情死を遂げたり集福は明治四十二年鎮南浦稅關監吏に任ぜられ書記に進めるものなるが同人はバチキリンに堪能なるのみならず

▲頗る多藝に してテニス歌かるた等の上手なるが斯る多藝の人物ゆゑ藝妓とも深く馴染むに至りしならん、一方千代鶴は大阪の生れにて之れも去る明治四十二年中玉屋の養女として抱へられたるものなるが美貌に加ふるに三絃舞踊に達し同地に於ける

▲一流の藝妓 として全盛を極め居たり兩人は昨年より馴染を重ね今は誰れ知らぬ者無き迄に浮名が立ち此事終に稅關長の耳に入りしより集福は二週間前辭表提出を命ぜられ千代鶴は首も廻らぬ負債に迫はれて兩人共ックク〳〵現世を悲觀せしものと見ゆ茲に

▲情死の決心 を爲し十八日夜集福の自宅にて共に昇汞を服用したるが集福は十九日午前三時絶命し千代鶴は同八時二十五分手當の効無く情夫の後を追ひたり倘一說に依れば集福は性質温柔にして且平素寡默なるだけ

▲至て凝り性 にて同人の多藝なりしも畢竟此の凝り性の爲め一圖に稽古に熱中せるが爲めなるが同時に意思の薄弱なる缺點あり前年平壤稅關在勤中にも遊里に足を入れ賑町遊廓大船樓の娼妓成太郎の色香に迷ひ其結果鎮南浦に轉勤を命ぜられたる程なるも倘成太郎を思ひ切れず折を見ては

▲遙々平壤迄 通ひ居れることを千代鶴が聞込み若き女の唯一筋に思ひ詰めて情死を迫れるにあらずやとも云へり夫れにつけても憐れなるは集福の妻女にて先年より歸郷中なるが此の凶報に接し如何許り悲しむことやらん倘て

▲情死の有樣 を聞くに十九日午前四時頃三和町なる玉屋の筋向集福方の隣家なる靑山某が何か早曉外出の用ありて自宅の表通りに立出でたるに集福方より怪しき唸き聲の洩れ聞ゆるにぞ靑山は不審を起し裏口に廻りて雨戶を押開け室內を覗き見しに集福千代鶴の兩人は室內

▲一面鮮血の 漾へるが中に朱に染なてノタ打ちまわり苦悶し居れるより打驚きて附近なる松林醫師に斯の由を告げて其診療を求め一方警察署に急報したり松林醫師は直ちに駈付けて應急手當を施したれども其効無く兩人共終に前記の時刻に縡切れたるなりと而して警察署よりは細野警部出張して檢屍を了へ二十日葬儀を行ふ筈なるが集福は愛媛縣溫泉郡正岡村字甲の產にして千代鶴は大阪府堺市住吉橋通一ノ五岡姓虎藏の妹なりと（平壤電話）

●通信上空前の大發明
無線電話と有線線話に接續
發明者は遞信省丸毛堀江兩技手

♣我學界の名譽

遞信省電氣試驗所技手丸毛登氏同堀江貞次郎氏は利根川、鳥潟兩工學博士指導の下に今回無線電話と有線電話とを接續せしむる大發明に成功したり右に就き內田遞信次官は十九日午後發表して曰く、『近時眞空球の研究の進步に伴ひ無線電話も有線電話の如く同時に通話を受送し得るに至り曩に鳥羽灣にて試驗の結果完全に成功し我學界の名譽として世界に誇るべきものありしが今回丸毛、堀江兩技手の手に依り電氣試驗所にて成功せる船舶に架設せる無線電話を電話交換局に中繼し更に之れを市內任意の加入者と自由に通話するを得せしむるに至りたるは實に米國に於て之を企て、失敗せし處にして通信上空前の新紀元を畫せるものなり亦以て我學界の名譽といふべし』と（東京特電）

●燒栗屋が大層殖えた

四五年前まで京城に四五軒しか無かつた燒栗專門の店が、今歳の秋から京龍を通じ約七十何軒に殖ゑた▲燒栗と云つても日本內地の燒栗とは違ひ、平壤栗（多く平南從產のもの）を鐵鍋に入れて白絞油と砂糖と砂の中で茶褐色に燒き上げたものである▲此の何十軒の燒栗屋中二十何圓の家賃を拂つて堂々と本町の街頭で商ひをしてゐる店が澤山あるから面白い▲値段は一升三十五錢より二十五錢迄であつて、高いのは栗の品質も好く甘味も充分であるが安いのは矢張り御多分に洩れず、安からう惡からうといふ掘物を原料に使ふからである▲元値を聞くと一石二十三圓から十七圓位迄で燒てゐる中に何うしても掛目が二割以上減るから其の實一升三十五錢に賣つても、世間で見るほどの儲けは無いさいふ▲砂糖は店に據つて正直に買つてゐる所もあるが、中には東拓筋の白砂を失敬してゐる店もあるらしいとの事である▲開店の資本は栗は前記の通り鍋一切竈押其他の器具で五六十圓もあつたら先づ雜つくとした燒栗屋が開業出來るとの事である

●陣地攻防戰
北鮮の機動演習

咸北の野に擧行中なる機動演習は十九日より陣地攻防戰に移れり（淸津特電）

●避難の女小供
天津から歸る

天津水害の避難者百三十名を乘せたる商船大紳丸は十九日天津より門司に入港したるが避難者の多數は婦人小兒にして航海中船內の混雜は恰もお祭騷ぎの如くなりしと避難者四十名は門司に上陸し他は同船にて神戶に向へり（門司特電）

●蒙古種馬來る

朝鮮總督府にては馬政局補馬に蒙古牝馬を配し乘挽兼用の改良種を得べく企圖し客年來江原道蘭谷面蘭谷牧場を飼養地として諸般の設備をなす一面技師野口次郎氏を蒙古に派し種馬購入をなさしめつゝありしが同技師は往復三十餘日を費し鄭家屯及び長春の兩地にて蒙古牝馬四十三頭を購入し十六日朝無事歸任せり購入の馬匹は十三日龍山著十四日一先づ洗浦牧場に送り同所にて檢査を行ひ追て蘭谷牧場に放牧すべく馬匹一頭[illegible]

●松葉船沈む

慶南梁山郡下西面西部里金鳳基（三〇）金海郡大渚麥里朴小甚（三七）の兩名は百石積みの帆船に松葉を積み釜山に向ふ途中十月十日午前七時頃東萊郡沙下面多大里沒雲臺の沖にて風浪の爲め難破漂流し兩名は辛く陸岸に泳ぎつきしが損害合計二百圓なりと

●石炭船の難破

安東縣江頭通り三丁目津田秀吉は百三十石積みの帆船、撫順炭五十八噸（千百餘圓）を積み安東より鎮南浦に向け航行中十一日平南龍岡郡貴林面德島沖合を航行中暴風浪の爲め難破し乘組員四名は辛く附近の小島に上陸せしが損害合計三千百餘圓なりと

●十六時間監禁

釜山牧の島釜學守（二二）は數日前南鶴洞に行きたるが恰も當日は同洞の祭りにて多數の洞民が例の錦太鼓で踊り廻り居たるに釜學守も酒興に乘じ踊手の持てる太鼓を取つて一緒に騷ぎたるより他洞の者が加はるは不都合なりと大勢にて釜學守を取り捲き遂に手取り足取り癩繩にて縛り上げ翌日午前十一時まで十六時間監禁し置きたるが漸く洞長の情にて逃げ返るや直ちに釜山署に告訴を差出したれば其の筋にてはこれが加害者と認むべき鮮人十數名を呼び出し目下嚴重に取調べ中なり

●釜盜人

香川縣綾歌郡坂本村生れ橫田滿一（二二）熊本縣天草郡樋宇土村井上源吉（三〇）は共謀して去月二十六日午後四時頃淸津浦項洞日新商行製材所東方砂原にありたる鏡城郡龍城面德村洞裵伯行所有の古釜一個（五十八圓）を竊取し之を新岩洞古物商金仁三に三十五圓にて賣却し其代金は北星町壽樓其他に於て酒色に消費し去月二十九日元山に高飛せしと發覺し兩名は元山にて逮捕され此程淸津警察署に護送されたり

●漂流

咸南北靑新浦港大盛商會所有帆船九三九（二十四噸）に明太魚二千五百三十圓を積み元山に向け航行中十月六日午前十時頃前津港沖合にて風波の爲め顚覆し荷物は流失し乘組員三名は船底に縋りて漂流中を北靑新昌居住の孔道一外八名の乘れる漁船に救助されしが船體の損害一千六百圓なりと

●一圓を二圓に

慶南梁山町上西面魚谷里農鄭道璋（三〇）は此の程勿禁市場にて受取りたる一圓紙幣中破損して通用せざるものあるより故意に引き破りて一枚の紙幣を二回に朝鮮銀行より相當の紙幣或は銀銅貨に交換し一圓を二圓に使用したることを官憲に於て探知し同人を引致取調べ中

●京城の菊
滿開は二十五六日ごろ

秋老いて菊の季節となつた、京城の菊は昨今漸く赤、紫、黄なんどの色とり〳〵に咲き初めたが滿開は二十五六日から來月七八日頃まで昨年に比べると幾分遲れた模樣である、京城の菊界は

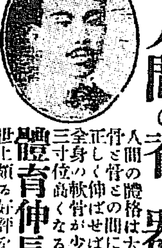
▲昨年末の嚴寒 で傷めたのと夏季に向つて時候不順で根を腐らした者の多い爲め例年になく寂寥を極めて菊天狗の鼻息も弱いが就中斯界の重鎮たる明治町の田中始一氏が栽培せなかつたのは寂しい感がする、重なる人々の中では橘破翁氏、大和町の神田、吉田、櫻井町の井上、姬野、長井、裁判所の岩本、濟洞の村上、旭町の竹村の諸氏や

▲大鉢作りでは 蓬萊町マーテル別莊內の高橋、花園では金華園などが相當に作つてゐるが金華園の菊は海風、一天、四海、雜火、初ケ瀨などの新種が花壇に咲き誇つて居り大鉢作りの初ケ瀨などは見事に咲き揃つて居る、橋氏の菊は未だ蕾が堅く天長節後ならでは咲盛からぬであらうが同氏の秘藏の菊としては旭日の波、錦水の波等の新種があるが何れ批評は花を見た上で試るとしやう（一記者）

うわさのうわさ

▲總督府內務部第一課長の澤田さんは普に聞こえた空砲の名手だつたが今年は如何いふ風の吹き廻しか神嘗祭の當日京釜線は德亭に出獵して獐一頭を擊ち留めたので居ても起つても辛棒が出來ず、翌日は未明から出張して『擊つたぞ〳〵』と各部局課の獵狂連に御吹聽▲斯くて廻り廻つて人見鐵道局長の所に行くと、フン夫れ結構と許り根つから熱の無い御挨拶なので澤田課長躍起となり『僕が擊つたのは事實僕が擊つたのだよ、エ、かい、君の樣に電報なぞを打つて態々人を南大門まで迎へさせ乍ら其の實買つて歸つた獐などゝは譯が違ふよ』▲此れには道の局長も一本參つたと見ねて『馬鹿いふない、あれは五六年も前の事だ』と苦笑一番倘ほも敦聞く課長を制しつゝ『イヨ〳〵判つたよ、夫れが眞實なら餘程大きなノロだつたらう』

●人間の脊も器械で延る



人間の體格は大小二百餘個の骨で組立てられ骨と骨との間には軟骨と云つて姿勢が正しく伸ばせば脊が高くなる軟かい骨が有る全身の軟骨が少しづゝでも伸びたなら脊が二三寸位高くなるは何んでもない今回專賣特許體育伸長器が發明せられ其の効力も外國製品以上にて世上に頗る好評を博しつゝあり此際發明披露の爲僅かな費用と日數で完全に自宅療法の出來る詳細圖入說明書をハガキで申込次第無料で秘密郵送　東京京橋入舟町一ノ二　器械療法所

かつけ　尾崎糠精
村井弦齋先生命名實驗證明　販賣元　東京中澁谷町　尾崎兄弟商會　全國藥店に在り

專賣特許　りん病自宅器械療法
十年の慢性も手輕に治る

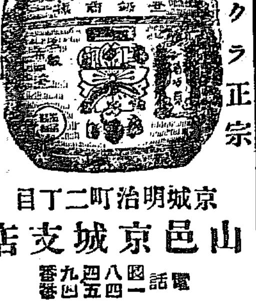
內服藥も洗滌藥も挿入藥も効力の遂せぬ尿道粘膜內の巢窟に潛伏し繁殖して屢々人を惱ます根治至難の病毒の黴菌を一匹殘らず殺滅し種ぎれにし得べき空前無比の安全器械療法を發見し十年廿年の痼疾患者も簡單に短時日中に治療の目的を貫徹しつゝあり ハガキで申込ば說明書を無料進呈す
東京京橋本材木町三ノ廿五　東京新療法研究所
大阪市北區北森町一番地　大阪新療法研究所

內科　小兒科　中島醫院
入院隨意（醫院病室）
京城府明治町二丁目（本町三丁目…入る）電話三七八番
院主　中島貞信

子宮病の血の道良藥
大正婦人湯
婦人病の二大特効藥
主効　子宮內膜炎　子宮外膜炎　血の道（ヒステリー）　頭痛　子宮實質炎　惡阻　喇叭管炎　產前產後　子宮炎　の諸症　月經不順　帶下　月經痛　卵巢炎　白帶下　赤　膣炎　逆上　頭痛　子宮出血　肢冷　耳鳴　肩凝　婦人病の豫防　足冷　腰冷　月經時姙娠　手足痛　膣內消毒　男女　感冒　冷水
定價（大正婦人湯）十日分三十錢　二十日分六十錢　一ヶ月分一圓　（ニシタンポン）
東京京橋區南鍋町　大正製藥株式會社　振替東京三二七三番
全國到る所の藥店にあり
專賣特許婦人坐藥　ニシタンポン

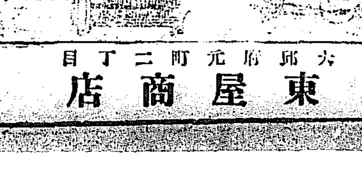
眼科專門　金井眼科醫院
京城若草町（新設道路中程）（黃金町通り若草町）電話一五五六
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

比較は最良の撰擇法なり!!



サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話 四八一 四四五 九四番　振替京城五七番

專賣特許　船津式



大邱府元町二丁目　東屋商店

●特約販賣人募集
各道廳郡廳　朝鮮各道面苗圃　東洋拓殖會社　各郡棉叺改良組合　御用達
御希望の方は往復ハガキにて御照會被下度候

京日案內
番外　普通
▲御申込の節は必ず番外又は普通の別を明記せられたし▲御申込の料金は前金に限る

●看護婦及看護婦見習至急入用　希望者本人來談あれ　南大門通り　漢湖農工銀行裏　司生堂醫院 723
●店員入用　十八歲以上要保證人　希望者履歷書携帶本人來談あれ　仁川　高野酒造場 729
被雇　二十八歲甲種商業出身　貿易及米仲買商を望む　遠近不問　南山町一の十三の十二中島方福本浩
十月生れの女兒預けたし希望者は至急御來談を乞ふ　南大門通二丁目硝子商藤村支店 728
◉濁酒　本年は特に上出來　大賣出し卸小賣大勉強（電話三〇三）瀧山　九三酒場 731
うちみ　くじき　はね　つき所　明治町フランス教會前　荒川仁濟堂　電話二五九五番 625
外務員募集　二十五歲以上履歷書持參午前來談　明治町一丁目　東京國債京城支部 734
◉木炭　現金大安賣　新炭商　石炭商　南大門通五丁目　高坂出張店　御成湯右入半丁 724
銃砲火藥獵具　京城明治町　瀧川銃砲店　支店　太田、公州　電話三〇二 683
職工募集　製法簡易　遠近不問　新案技術ゴム製造　多利自宅職業　發送れ事業案內書製作見本郵送　京城太平通二　太陽ゴム商會 662
貸自働車　片道金四圓　京城驛前八時　京城水標橋通　電話二一三八番　京春自働車商會　松田壽男

本會々長正五位勳五等岡正矣儀永々病氣ノ處養生不相叶昨十八日東京府荏原郡大井町一千百九十三番地自邸ニ於テ逝去致候間此段謹告仕候
大正六年十月十九日
朝鮮電氣協會

櫻御殿

第四十六回　大阪　霞の家主人

三左衛門の血（三）

『斯程に事を分けて云ふが、各自にはお分りないか、不肖ながら大崎三左衛門、君命に由つて政所様お爺へ使する途中、いかに掟なればとて、此のまゝ引き返すことが爲らうか、此上は伊奈殿のお目に掛つて、一伍一什をお願ひ申す、卒爾ながらお取り次ぎ下さるまいか』

三左衛門は辭を卑うして云つた。番卒は正則の手の者に對する憎悪の念が火と燃ゑて、一々に刎ね付ける

『爲らぬ』

は當座の意地が廢る、且は此の壯士に名を成させる、他家の武士なら、兎も角、左衛門太夫の家來に用捨は無い、少しでも彼を苦しめるは日頃の欝忿を晴らすに當る天地の間に左衛門太夫ほどの器量人ば無いように思つて居る彼等の心に、江戸内府公の御威勢を示すのは此の時を措いて他にないと思ふので、番卒は竹杖で堰き止める。

この騒ぎを聞いて、三人五人十人と人數が加はる、中には三左衛門の境界に同情を寄せる者もあるが正則の家來と聞くと不快を感ずる洲の城を出發して後、正則がら、直な備中守へ渡し申せ』との命令も受けて居る、その一書を徳川家の手へ取られては、使して君命を辱める事に當る、切死するに難くはないが、この一命は君の物である、迂濶に刄を拔く時でないと思ひ返しては頭を下げる

『爲らぬ〳〵、歸り召せ〳〵』

番卒が口々に云ふを耳にも掛けず、三左衛門は竹杖を押し退けて

ふたり揃ふて散歩のかへり寄ろか木村屋パン買ひに（京城明治町 電話二八七〇）

『伊奈殿に物申す、われは福島左衛門太夫御内大崎三左衛門でござる』と呼びながら進み入る、この時

『言語道斷、お宅法を辨へぬか』

大聲に斯う呼んで、竹杖で押し除けようとした番卒があつた

『ではござらうが、お手前達御法に由つて此の御門の守護に任じたまふも、手前が主命を帶んで政所へ使するも奉公の二字に二つはない、誰にも武士は相互ひでないか、ご平に推量を願み存ずる』

三左衛門が下から出るほど、番卒は頭から噛み付ける

『内府公は天下の主ぢや、我等天下の掟を行ふ、お身なぞと一つにならうか、歸り召され〳〵』

『事に大小の別はあつても、武士の道に二つは無い、最もお手前達の落度になる事は致さぬ、是非は扨措き、伊奈殿に願ふて見る、お執次ぎ下されへ』

三左衛門は膝を鎮して頼んだが番卒は肯かなかつた、伊奈圖書に執り次いだら、十の物八までは通行を許可するに極つて居る、大でおのれの地位を高く見る心から、ともすると、無理を通さうとする態度のあるのを、心憎く見る反感の情は、家康から足輕の末までを貫いて、事あらば鼻柱を碎かうとの心がある、その火の中へ三左衛門は進み入つたのである

『伊奈殿に對面せう、伊奈殿に……』

本町一丁目三越向 電話一〇四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田應治

三左衛門も段々と激して來る、一時も早く死んで清之亟の後を追はうとする心には、まことに好い機會、切り入つて滿潮武士の手の冴えを見せようとは思ひ付くが、悲しいかな、懐中に正則の消息を持つて居る、且つは正則から一大事の用件、餘人へ手渡し致てはな

日報俳壇

花野

幌持たぬ俥や花野雨となり　待宵
花野來て丘越せば見ゆ湯宿哉　同
放れ牛綱を曳きゆく花野哉　月小夜
道一筋の荷車が行く花野哉　同
驪馬に跨り郡守が通る花野哉　楓亭
流れこゝに湖となる花野哉　琦好
爽笠冠りヨボに又逢ふ花野哉　味川
牧場の白壁見ゆる花野かな　要村
橋落ちて渡舟ある花野哉　馬岳
霧の中に甲の灯見ゆる花野哉　飛泉
演習の砲車据ゑある花野哉　北粤
丘あれば家がある花野行く馬上　楚川
花野果て馬車が停りし洮哉　同

秋の水

皆が登山の顔を洗ふや秋の水　隈山
人影に沈む魚あり秋の水　同
杣人の斧を冷やす秋の水　同
竹を割る鐮に流れる秋の水　同
秋の水掬ば眉宇に燃ゆる花　同
鳥が啄む木の實を零る秋の水　同
月白き秋水に綸を垂れて居り　枕山
我に寄り來る家鴨の群や秋の水　馬岳
秋水の盥に澄める緋鯉かな　北豐

印章ゴム 版木彫刻 名刺印刷
京城本町一丁目 千代田號 電話九八七番 振替九八七番

踊

馬車が來て踊が崩れし月夜　山與水
踊やみて河原は一と明るし　同
踊場の焚火や草野平かに　待宵
人妻の上手をつくす踊かな　同
水涸れし河原など踊り哉　味川
踊果てゝ別れ來し月の渡し哉　同
篝火の崩れて踊り納めけり　未刀
鮮人の甲寇りて踊かな　角牛
踊り疲れて草に憩ふ人數哉　汀幽
音頭取りの太鼓に揃ふ踊哉　梅石
月天心に踊る大衆を照し見　羅象
湯治客の湯女に交りて踊哉　琦好
よく踊る眉目凉しき男哉　二葉

砧

闇の雑音鎮まり砧打始めし　待宵
月に明る百戸の村の砧哉　同
灯に搖らぐ我影打つ砧盤　同
山蔭の一村砧打つ夜かな　汀幽
裸火の庭樹に搖らぐ砧哉　同
四手打を馬上に過ぐ驛哉　琦好
しどろ打つ妻の砧や悲しき　未刀
思ふ事果さずし歸る夜の砧　山與水
芋畑の雨に四手打つ小家哉　芋秋
灯火の瞬く風に芋かな　同

二葉御宿　第六回東十句集

[illegible]

第七回東十句集

蟲が哭き蚊帳に日愛る虫のやど　同
椎の實のこぼれて淋の虫鳴ける　い子
尉の間に虫ないて居るや栗をむく　同
音たてゝ野草噛む馬や虫のこゑ　合歡女
目に光る唐黍の葉や虫のこゑ　同
朝霧や伐倒されて大樹あり　い子
踊り居て霧の海見ゆる湯槽かな　い子
寶れぬ店に灯あかあかさまちの霧　羽子
縫ひ終て更けし小窓や霧に鎖す　同
喪蛛次につきし小舖や霧の朝　合歡女
川霧や橋守の顔洗ひ居る　い子
川霧に炊煙交り行く外かまど　合歡女

〔一〕五選十句集募集○第九回霧十句十月二十日締切○但朝鮮在住の婦人にて且現在川柳何々の紹介ある方に限る宛所京城西大門内宮谷園枝　よし子

新刊紹介

▲**探鑛必携**（鑛山技師片山平三郎氏著述）本書は鑛床を發見する探鑛の方法より鑛石の鑑定分析、其他鑛區の測量法等に至る迄を詳述したれば探鑛者の常に携帶すべき好伴侶ならん（正價金一圓三十錢）

▲**朝鮮彙報**（六ノ一〇）本誌は嚢に朝鮮總督府月報と稱し明治四十四年六月創刊し大正四年朝鮮彙報と改めたるものにして本月以來別に朝鮮彙報地方號を發行し本誌にありては之を機として編輯の改善を[illegible]京市神田錦町誠之堂發賣

▲**朝ノ鐵道青年**（六ノ一〇）朝鮮鐵道青年會の機關誌にして局外者も讀んで興味ある記事多し（龍山鐵道青年會）

▲**少年倶樂部**（一一）木版の美人模様、秋果の柿のこ、芳山の博士の行動、自然の命令其他史談、軍事、經濟、科學等の趣味多き教訓的讀物を滿載し尚懸賞募集あり（十六錢、東京本郷駒込坂下町大日本雄辯會）

▲**婦人世界**（婦人幸福號）新渡戸博士其他の諸大家の執筆せる婦人必讀の最も有益にして趣味ある文字を滿載し婦人の爲の良なる參考書なり（十七錢東京實業之日本社）

▲**朝鮮農會報**（一二の一〇）論説、雜纂、抄録、統計、法令、農界時事、會報等二十八頁の水原共社）

▲**國民評論**（一〇）大日本新聞學會の機關雜誌なり（十五錢東京麴町有樂町一の三五社）

▲**ローマジ**（一一〇〇）十二錢東京麴町有樂町一ノ三ローマジひろめ會

▲**フースヒー**（四四）五錢東京下澁谷二三二共社

▲**女の世界**（新らしい女號）二十錢東京麴町有樂町一の四　女の世界社

▲**東洋**（一ノ五）日英文五十錢東京市麻布兵衛町二ノ二二共社

▲**經濟資料**（滿鐵東亞經濟調査局編纂）二十五錢東京麴町下二番町六八外交時報社

銃
能將け多年の經驗と完全なる設備と獨特の技巧とを有する槍山元町二丁目
王井銃砲店 電話五三八

寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛版
迅速丁寧
京城日報社寫眞製版部

●特許品製作會社成立　九月十五日創立總會、開きたる特許品製作株式會社は本店を麹町區飯田町三丁目に置き特許品の製作販賣工業所有權の實賣仲介工業所有權者に資金の貸附及び仲介を爲し發明家企業家及び資本家を結合して發明界の進歩に盡す所あらんと云ふ

●堅牢安價なる蓄音器の發明　普通蓄音器は歯車ゼンマイの破損の爲め屢々修繕を要するが缺點なりしが先にクトウ蓄音器を發明して專賣特許第二五六〇〇號を得たる東京神田區今川小路一丁目工藝學治郎氏は先九月十二日附を以て農商務省特許局より追加特許を許可され以て堅牢安價なるクトウ蓄音器を完成せり、同特許公報に『本發明は普通蓄音器の如き歯車ゼンマイの加き破損易き構造を用ひず、堅牢安價なり』とあり、又其告げ少しも變りなく價格は五圓以下にて發賣すと云へり、動力は手從しにて小供にも極めて輕く取扱ひ得少しも熟練を要せずに整一なる音調を得らるゝが特許の要點にて蓄音及び針は普通のものな用ひるとと云ふ

●マラリアに一番
ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
價金十錢卅錢五十錢 郵税二錢
●ニセモノアリ御注意●
本舖 龍山 林藥房
代理店 京城本町二丁目 合資會社 山岸天祐堂
代理店 釜山辨天町二丁目 大黑南海堂

漆器
●本年は殊に豊富精良品を精販致し價可仕候間多少共御用命願上候
靜岡 丸五漆器店
京城出張所 京城本町二丁目 電話二二四番 振替三三五九番

明治町南山町角 西本願寺坂下
女醫 中村齒科醫院
分院（黄金町二丁目郵便局前）電話一五八二番 電話一八九番

洋釘 洋鐵 亞鉛鐵 平鐵 鋼 波板 板 鐵 カ板 [illegible]

最新刊
▲日本藥局法註解　下山順一郎 七〇
▲改訂行政法講義　總論　織田萬 二四〇
▲朝鮮鑛業指針　宮崎 習齋 二〇〇
▲小學教育と家庭及社會　小學教育研究會 一六〇
▲教育界の現状打破　谷本富 一五〇
▲日本と選部　前田 大木孝吉 一八〇
▲大然生活法　前田翠軒 八〇
▲道中 東海 膝栗毛輪講　三田村鳶魚 著 定價 一圓十錢
▲譯韓非子　野中元三郎 九〇
▲英譯不如歸　徳富蘆花著 鹽谷榮譯 七五〇
▲解脱の妙味　丸山 小洋 五〇
▲修養百話　村田 何休 七〇
▲兵軍事讀本　五〇
▲朝鮮總督府巡查受驗提要　永野 清 一〇
▲辯護士試驗受驗提要　安達大壽計 一〇
▲六法要論 同 四〇
大阪屋號書店

ルエチン
有無梅毒診斷液
梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潛伏して身体の衰弱せる時に腦神經、內臟眼球、骨等總ての臟器に種々の病症となりて現るるものなり………
其外部へ現れしものは治療に便なれども潛伏、遺傳、其他內臟に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、さればその原因の新古乃至は遺傳、潛伏の何を問はれず梅毒の疑を有する者は先づ●醫師●に就て●ルエチン●の注射を試みられよ●其有無直に判明し疑問は直に解決すべし……
本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワッセルマン氏の反應より遙に鋭敏確實且つ簡易なる注射を以て殆ど百%に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり………
說明書あり申込第次送程す
發賣元 東京京橋區南傳馬町三 星製藥株式會社
關西代理店 大阪東區道修町三 小西喜兵衛

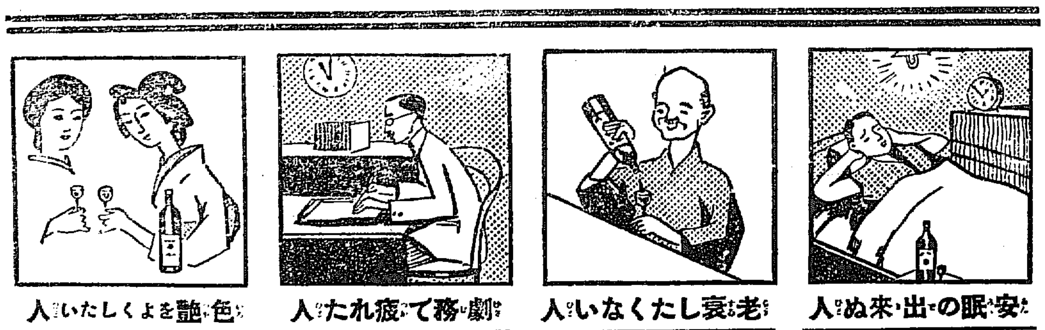
太平通二丁目（電話二二五八番）
皮膚科 外科 專門 扇田醫院
內科小兒科一般診療
（內科外科午前。皮膚科午後夜間診療）

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
電話二六〇〇番 一八番
酒井婦人病院
入院隨意 院長 酒井一郎

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……卸値がお安いです
京城本町二丁目角
古城贊化堂
電話一〇二番 振替七三七番

七大醫學博士の賞讃と證明を有する
美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワイン
類似品あり赤玉印に御注意

朝夕の一杯は百藥に優る



安眠の出來ぬ人
夜遅くまで寢つかれず何となく頭の重い方は腦神經衰弱の人であるこんな人は美味で滋養の葡萄酒赤玉ポートワインを朝夕欠さず召上れ必ず心身とも愉快に安眠が出來ます

老衰したくない人
いつ迄も年は寄りたく無いものですお年の取らぬ方法はタツタ一つ血を増し肉を肥しいつ迄も元氣で愉快に老衰せない美味で滋養の葡萄酒赤玉ポートワインを召上るにかぎる

劇務で疲れた人
終日劇務で心身を勞される人は飲んで二倍の元氣の出る葡萄酒赤玉ポートワインを召上れ赤玉ポートワインは疲勞を慰するのみならず心身を強健にし常に愉快と元氣を持續す

色艶をよくしたい人
これと云ふ病氣はなくも顔色のよくない人、手足の冷ゆる人殊に産前産後の婦人は美味で滋養の赤玉ポートワインを召上れば体温を保ち生々とし血色を良くする効果がある

無病の人も病氣の人も召し上れ!!

赤玉規那鐵葡萄酒
赤玉生葡萄酒
本店

大阪　二日

後場當限寄付二十二圓八十九錢▲中限寄付二十二圓九十九錢▲先限寄付二十二圓九十二錢

十九日後場（天候晴天買引喚く）[illegible]

仁川　二日　米

十九日後場▲各地後寄米著にて當地當中川漲不申先十八圓九十二錢と十一錢高に寄付き直に八十九錢さ[illegible]

▲又復下落る

天候晴天となり大阪前場八十九錢と高移りありたる低後寄米著にて十八圓九十二錢さ寄付直に八十九錢と辷りたる[illegible]

[illegible]

◎慶北金融成績

慶北道內二十六箇所地方金融組合[illegible]地方金融組合事業好調[illegible]六百四十圓三十錢拙失金三萬四千[illegible]六百六十圓五十九錢內純拙[illegible]五圓七十四錢を示し此の外借入[illegible]六百八千六百十二圓四十三錢[illegible]

大邱客月中に於ける輸移出入貿易狀況を聞くに輸移出四萬六千二百三十七圓輸移入三十九萬五千二百四十圓合計四十四萬一千四百七[illegible]六豆の輸移出旺盛なりしと果實及び核子、牛皮其他諸品にして何れも相當出増を告げたるに因り輸移[illegible]